

武蔵野市生涯学習市民意識調査

～市民の学びに関するアンケート調査～

報 告 書

平成21年 3 月

武蔵野市教育委員会

目 次

I 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の方法	3
4 調査の期間	3
5 回収結果	3
6 調査項目	4
(1) 一般の調査項目	4
(2) 団体の調査項目	5
7 報告書の見方など	6
II 一般の調査結果	9
1 回答者の属性	9
(1) 年齢	9
(2) 性別	10
(3) 地区	11
(4) 居住年数	12
(5) 通勤・通学先	13
2 現状	14
(1) 「生涯学習」の認知度	14
(2) 「生涯学習」のイメージ	15
(3) 活動をおこなっている生涯学習	17
(4) 生涯学習をおこなっていない理由	18
(5) 生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所	20
(6) 生涯学習をおこなうきっかけ	23
(7) 生涯学習をおこなっている理由・目的	24
(8) 生涯学習をおこなううえで困っていること	25
(9) 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの	26
3 今後のニーズなど	27
(1) 生涯学習をする場合に興味があること	27
(2) 生涯学習をおこなう理由・目的	29
(3) 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会	30
(4) 生涯学習をおこなうために必要な情報	32
(5) 生涯学習に関する情報の入手方法	34
(6) 生涯学習で身につけたことの活かし方	36
(7) 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること	37
(8) 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること	38

4	子どもにとっての生涯学習	39
	(1) 年齢と性別	39
	(2) 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会	41
5	市に望む取組	43
	(1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組	43
Ⅲ	団体の調査結果	49
1	団体の属性	49
	(1) 活動年数	49
	(2) 会員の多い年代	50
	(3) 会員数	51
	(4) 活動テーマ	52
2	現状	53
	(1) 団体ができたきっかけ	53
	(2) 活動形態や活動方法	54
	(3) 活動の頻度・時間帯・場所	55
	(4) 生涯学習をしている一番の目的	61
	(5) 活動成果などの活かし方	62
	(6) 活動をおこなううえで困っていること	63
3	今後のニーズなど	65
	(1) 今後の生涯学習に関する活動(会員数・活動の内容・活動の地域)	65
	(2) 地域の他の団体や個人との交流	68
	(3) 地域の団体等と協力(協働)しながら、してみたい生涯学習に関する活動	69
	(4) 市と協力(協働)しながら、してみたい生涯学習に関する活動	70
	(5) 生涯学習を進めていくために必要な情報	71
	(6) 生涯学習に関する情報の入手方法	72
	(7) 市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの	73
4	市に望む取組	74
	(1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組	74
Ⅳ	自由意見	79
1	「武蔵野らしさ」のイメージ	79
2	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望	85
Ⅴ	調査票	93
1	一般の調査票	93
2	団体の調査票	100

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の生涯にわたっての学びを一層促進するために、日頃の取組や生涯をつうじて学びたいこと、持続した学びのために必要だと思われることなどについて、生涯学習の実態や今後のニーズを把握するとともに、平成21年度に予定している「生涯学習計画（仮称）」の策定に向けた基礎資料として活用することを目的として調査を実施した。

2 調査の対象

- (1) 一般：市内在住の16歳以上の男女2,000人（無作為抽出）
- (2) 団体：武蔵野市に登録している社会教育関係団体200団体（無作為抽出）

3 調査の方法

一般、団体とも郵送による配布および回収

4 調査の期間

- (1) 一般：平成20年11月26日（水）～12月10日（水）
- (2) 団体：平成21年 1月15日（木）～ 1月27日（火）

5 回収結果

	配布数	回収数（有効回答数）	回収率
一般	2,000票	682票	34.1%
団体	200票	154票	77.0%

6 調査項目

アンケート調査票の項目は、以下のとおりである。

(1) 一般の調査項目

大項目	小項目	設問
◆ 回答者の属性	年齢	F1
	性別	F2
	地区	F3
	居住年数	F4
	通勤・通学先	F5
◆ 現状	「生涯学習」の認知度	問1
	「生涯学習」のイメージ	問2
	活動をおこなっている生涯学習	問3
	生涯学習をおこなっていない理由	問4
	生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所	問5
	生涯学習をおこなうきっかけ	問6
	生涯学習をおこなっている理由・目的	問7
	生涯学習をおこなううえで困っていること	問8
	市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの	問9
◆ 今後のニーズなど	生涯学習をする場合に興味があること	問10
	生涯学習をおこなう理由・目的	問11
	生涯学習をおこなう場合に利用したい機会	問12
	生涯学習をおこなうために必要な情報	問13
	生涯学習に関する情報の入手方法	問14
	生涯学習で身につけたことの活かし方	問15
	市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること	問16
	市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること	問17
	「武蔵野らしさ」のイメージ [自由記述]	問18
◆ 子どもにとっての生涯学習	年齢と性別	問19
	子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会	問20
◆ 市に望む取組	生涯学習を活発にするために市に望む取組	問21
◆ その他	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望 [自由記述]	問22

(2) 団体の調査項目

大項目	小項目	設問
◆ 団体の属性	活動年数	F1
	会員の多い年代	F2
	会員数	F3
	活動テーマ	F4
◆ 現状	団体ができたきっかけ	問1
	活動形態や活動方法	問2
	活動の頻度・時間帯・場所	問3
	生涯学習をしている一番の目的	問4
	活動成果などの活かし方	問5
	活動をおこなううえで困っていること	問6
◆ 今後のニーズなど	今後の生涯学習に関する活動（会員数・活動の内容・活動の地域）	問7
	地域の他の団体や個人との交流	問8
	地域の団体等と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動	問9
	市と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動	問10
	「武蔵野らしさ」のイメージ〔自由記述〕	問11
	生涯学習を進めていくために必要な情報	問12
	生涯学習に関する情報の入手方法	問13
	市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの	問14
◆ 市に望む取組	生涯学習を活発にするために市に望む取組	問15
◆ その他	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望〔自由記述〕	問16

7 報告書の見方など

集計結果の回答割合は、有効回答（一般：682、団体：154）を分母として小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで表示した。四捨五入して表示しているため、これらの数値の合計が100%にならない場合もある。

また、複数回答を可能とした設問では、回答者数を分母として回答割合を算出しているため、数値の合計が100%を超えることがある。

クロス集計の表およびグラフでは、クロス集計した設問どうしを × でつなぎ、グラフのタイトルに表示した。

また、複数回答のクロス集計の表は、傾向を把握しやすくするため、表側（下記の例では「年齢ごと」）の構成比のうち、無回答を除く各項目の上位3つを網掛けで表示した。

（例）問2.「生涯学習」のイメージ×F1 年齢

問2. 「生涯学習」のイメージ 【複数回答】		上段：集計値 下段：構成比（%）										
	幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと	趣味・教養を高めること	職業上必要な知識・技能を身につけること	生きがいを充実すること	心を豊かにすること	自分の住んでいるまちや地域について知ること	講座や教室等の学習活動への参加	健康・体力づくりをすること	その他	無回答	全体	
全体	375 55.0%	368 54.0%	58 8.5%	382 56.0%	395 57.9%	100 14.7%	282 41.3%	156 22.9%	8 1.2%	9 1.3%	682 100.0%	
年齢	16歳～19歳	32 65.3%	19 38.8%	3 6.1%	18 36.7%	19 38.8%	5 10.2%	7 14.3%	7 14.3%	-	1 2.0%	49 100.0%
	20歳～29歳	34 58.6%	33 56.9%	6 10.3%	27 46.6%	28 48.3%	5 8.6%	19 32.8%	9 15.5%	-	-	58 100.0%
	30歳～39歳	58 63.7%	57 62.6%	10 11.0%	49 53.8%	51 56.0%	8 8.8%	39 42.9%	8 8.8%	1 1.1%	-	91 100.0%
	40歳～49歳	63 58.9%	62 57.9%	6 5.6%	65 60.7%	72 67.3%	8 7.5%	47 43.9%	14 13.1%	-	-	107 100.0%
	50歳～59歳	57 49.6%	62 53.9%	6 5.2%	71 61.7%	75 65.2%	14 12.2%	51 44.3%	27 23.5%	1 0.9%	1 0.9%	115 100.0%
	60歳～69歳	60 51.7%	60 51.7%	9 7.8%	73 62.9%	69 59.5%	18 15.5%	61 52.6%	38 32.8%	1 0.9%	3 2.6%	116 100.0%
	70歳～79歳	48 51.6%	55 59.1%	11 11.8%	52 55.9%	54 58.1%	29 31.2%	42 45.2%	35 37.6%	3 3.2%	1 1.1%	93 100.0%
	80歳以上	22 42.3%	20 38.5%	7 13.5%	27 51.9%	27 51.9%	13 25.0%	16 30.8%	18 34.6%	2 3.8%	3 5.8%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

* 構成比（%）の見方：選択肢の集計値を表側各項目の全体の集計値で割り返して表示。

例）「16歳～19歳」の「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」の構成比（%）では、当該項目の集計値32を「16歳～19歳」全体の49で割り返し、小数点第2位を四捨五入して表示。

* 網掛けでの表示：構成比（%）のうち、各項目の上位3つ（同率のものも含む）を網掛けで表示。

例）「16歳～19歳」の上位3つ：65.3%（1位）、38.8%（2位）、38.8%（2位）

「80歳以上」の上位3つ：51.9%（1位）、51.9%（1位）、42.3%（3位）

Ⅱ 一般の調査結果

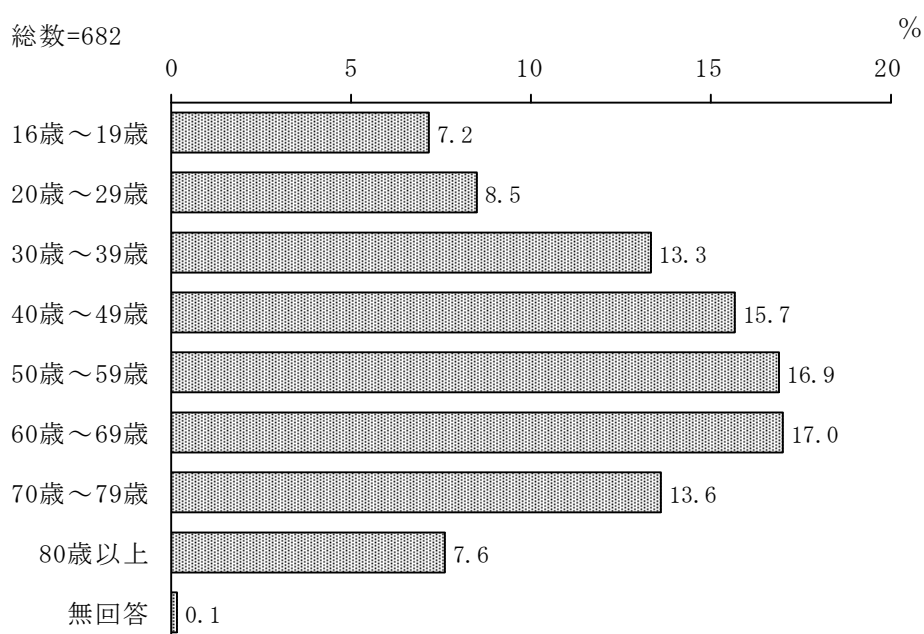
Ⅱ 一般の調査結果

1 回答者の属性

(1) 年齢

F1 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つだけ) [平成20年11月1日現在]

■ F1 年齢



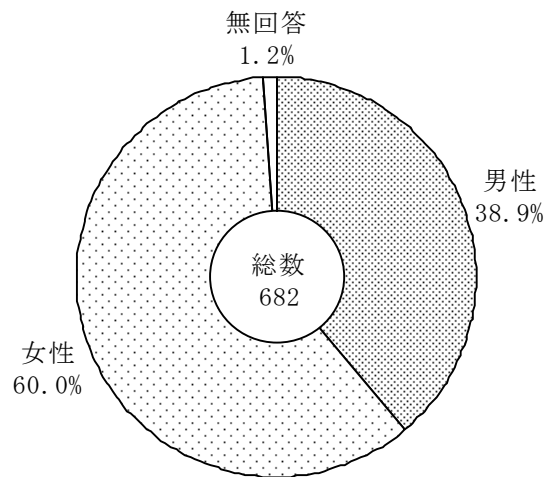
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
16歳～19歳	49	7.2
20歳～29歳	58	8.5
30歳～39歳	91	13.3
40歳～49歳	107	15.7
50歳～59歳	115	16.9
60歳～69歳	116	17.0
70歳～79歳	93	13.6
80歳以上	52	7.6
無回答	1	0.1

回答者の年齢は、「16歳～19歳」(7.2%)、「20歳～29歳」(8.5%)、「30歳～39歳」(13.3%)、「40歳～49歳」(15.7%)、「50歳～59歳」(16.9%)、「60歳～69歳」(17.0%)、「70歳～79歳」(13.6%)、「80歳以上」(7.6%)となっており、「16歳～19歳」「20歳～29歳」「80歳以上」以外は、全体の10%以上で集計値も100近くに達している。

(2) 性別

F2 あなたの性別をお答えください。 (○は1つだけ)

■ F2 性別



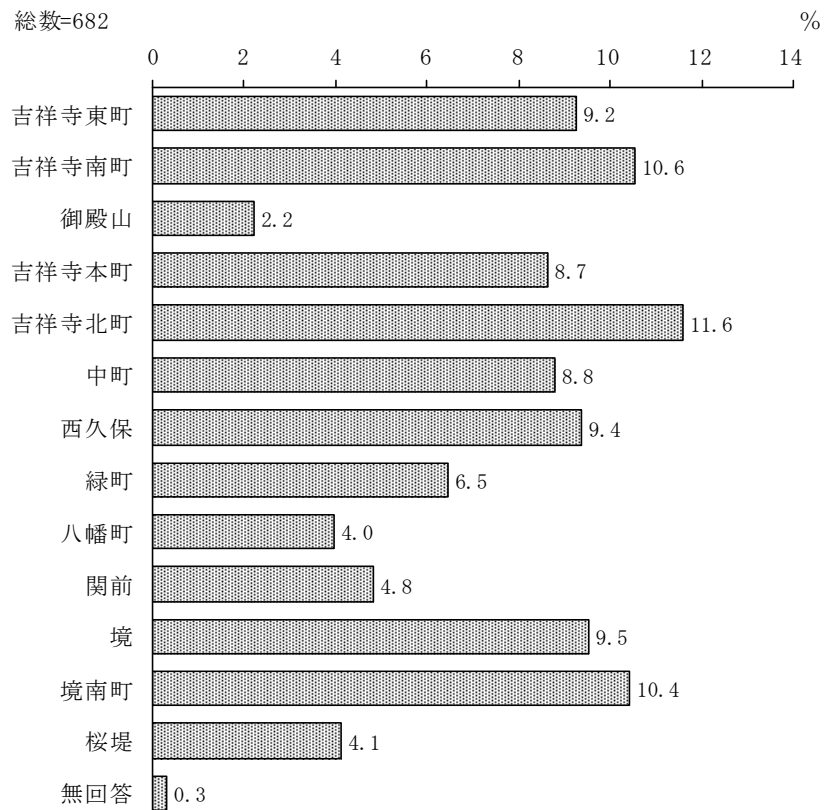
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
男性	265	38.9
女性	409	60.0
無回答	8	1.2

アンケート回答者は、男性は4割弱、女性が6割を占めている。

(3) 地区

F3 現在お住まいの地区は、次のうちどれですか。 (〇は1つだけ)

■ F3 地区



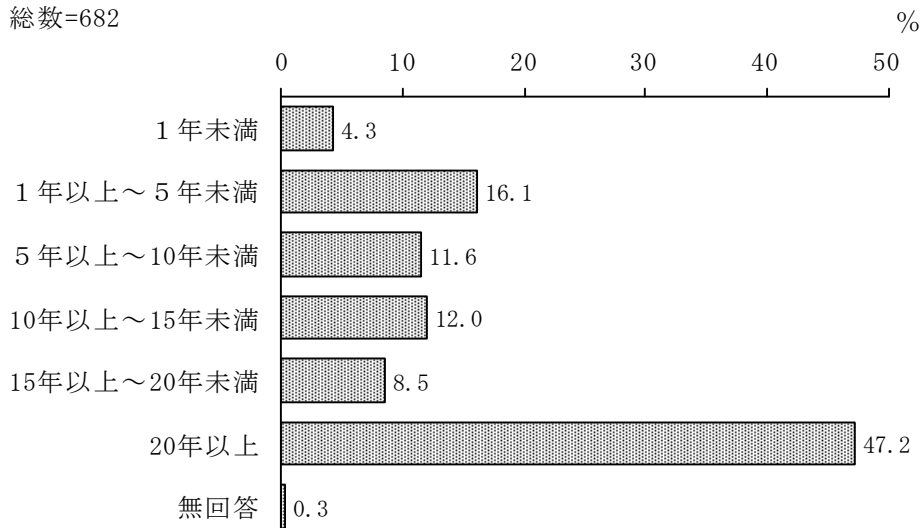
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
吉祥寺東町	63	9.2
吉祥寺南町	72	10.6
御殿山	15	2.2
吉祥寺本町	59	8.7
吉祥寺北町	79	11.6
中町	60	8.8
西久保	64	9.4
緑町	44	6.5
八幡町	27	4.0
関前	33	4.8
境	65	9.5
境南町	71	10.4
桜堤	28	4.1
無回答	2	0.3

アンケート回答者の居住地区は、「吉祥寺北町」(11.6%)、「吉祥寺南町」(10.6%)、「境南町」(10.4%)、「境」(9.5%)、「西久保」(9.4%)、「吉祥寺東町」(9.2%)、「中町」(8.8%)、「吉祥寺本町」(8.7%)、「緑町」(6.5%)、「関前」(4.8%)、「桜堤」(4.1%)、「八幡町」(4.0%)、「御殿山」(2.2%)となっている。

(4) 居住年数

F4 武蔵野市に住み始めてからの年数をお答えください。 (○は1つだけ)

■ F4 居住年数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
1年未満	29	4.3
1年以上～5年未満	110	16.1
5年以上～10年未満	79	11.6
10年以上～15年未満	82	12.0
15年以上～20年未満	58	8.5
20年以上	322	47.2
無回答	2	0.3

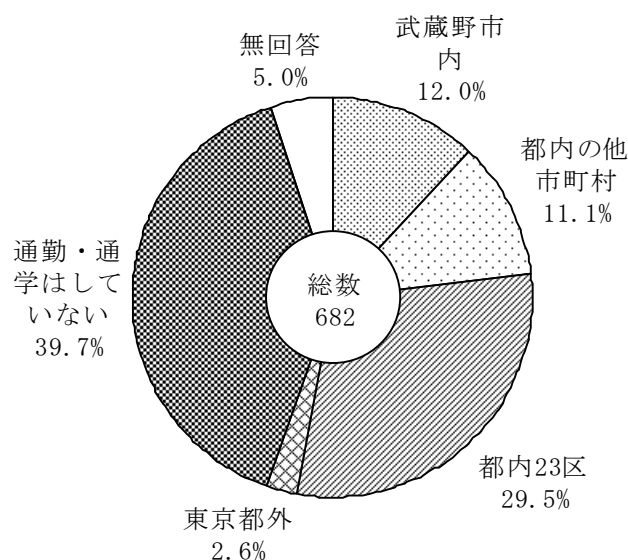
アンケート回答者の居住年数については、「20年以上」(47.2%)が最も高い割合であり、居住年数の長い人が多い傾向がみてとれる。

また、次に高いのは「1年以上～5年未満」(16.1%)であり、社会的な流動人口が一定程度あることがうかがえる。

(5) 通勤・通学先

F5 どちらかへ通勤、通学をされていますか。通勤、通学をされている場合、あなたの従業地・通学地をお答えください。 (〇は1つだけ)

■ F5 通勤・通学先



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市内	82	12.0
都内の他市町村	76	11.1
都内23区	201	29.5
東京都外	18	2.6
通勤・通学はしていない	271	39.7
無回答	34	5.0

アンケート回答者の通勤・通学先について、「通勤・通学はしていない」(39.7%)が最も高い割合となっている。

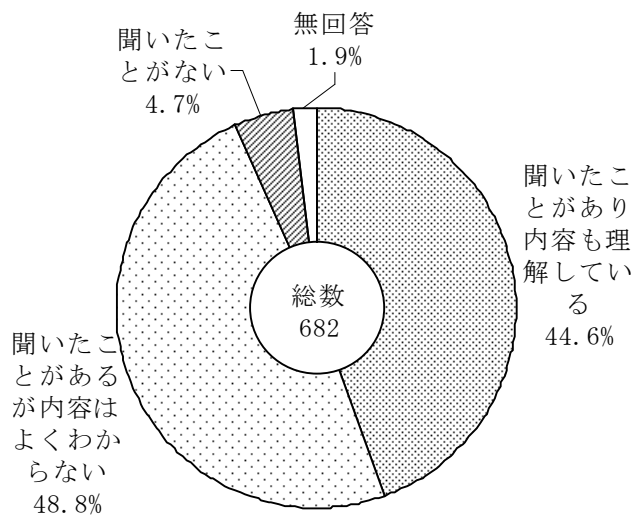
また、「通勤・通学はしていない」(39.7%)と「武蔵野市内」(12.0%)を合わせた約5割が日常的に市内にいる人であることがみとれる。同じように「都内23区」(29.5%)、「都内の他市町村」(11.1%)、「東京都外」(2.6%)を合わせた4割以上が市外に通勤・通学している人であり、仕事が終わってからの時間や休日の利用などにも配慮することが必要と思われる。

2 現状

(1) 「生涯学習」の認知度

問1 「生涯学習」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。 (○は1つだけ)

■問1 「生涯学習」の認知度



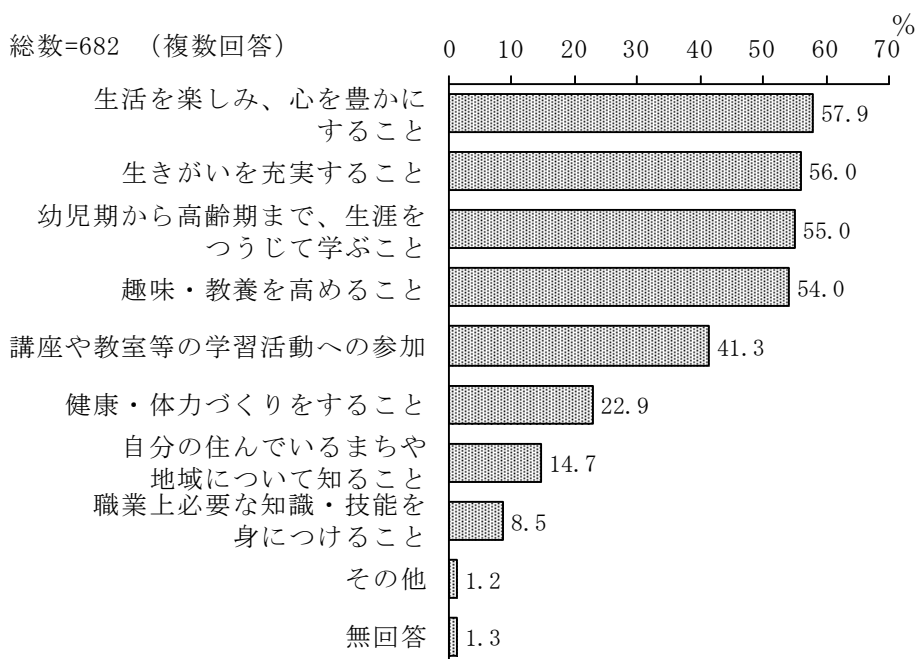
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
聞いたことがあります内容も理解している	304	44.6
聞いたことがあるが内容はよくわからない	333	48.8
聞いたことがない	32	4.7
無回答	13	1.9

「生涯学習」という言葉については、「聞いたことがあります内容も理解している」の割合が44.6%である一方、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」(48.8%)と「聞いたことがない」(4.7%)を合すると5割を超えており、「生涯学習」について、ほとんどの人は聞いたことはあるが、内容を理解している人は過半数に満たない現状である。

(2) 「生涯学習」のイメージ

問2 「生涯学習」と聞いて、あなたが思い浮かぶイメージについて、お答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

■問2 「生涯学習」のイメージ



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
生活を楽しみ、心を豊かにすること	395	57.9
生きがいを充実すること	382	56.0
幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと	375	55.0
趣味・教養を高めること	368	54.0
講座や教室等の学習活動への参加	282	41.3
健康・体力づくりをすること	156	22.9
自分の住んでいるまちや地域について知ること	100	14.7
職業上必要な知識・技能を身につけること	58	8.5
その他	8	1.2
無回答	9	1.3

「生涯学習」のイメージについて、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」(57.9%)、「生きがいを充実すること」(56.0%)、「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」(55.0%)、「趣味・教養を高めること」(54.0%)などいずれも5割を超えている。

また、「健康・体力づくりをすること」(22.9%)や「自分の住んでいるまちや地域について知ること」(14.7%)なども認知されていることがうかがえる。

全体的に、「生涯学習」のイメージを幅広く持っていることがみてとれる。

■問2 「生涯学習」のイメージ×F1 年齢

上段：集計値
下段：構成比（%）

問2. 「生涯学習」のイメージ 【複数回答】

		幼児期から高齢期まで つうじて学ぶこと 生涯を	趣味・教養を高めること	職業上必要な知識・技能を 身につけること	生きがいを充実すること	生活を 豊かに すること	自分の住んでいるまちや 地域について知ること	講座や教室等の学習活動 への参加	健康・体力づくりをすること	その他	無回答	全体
全体		375 55.0%	368 54.0%	58 8.5%	382 56.0%	395 57.9%	100 14.7%	282 41.3%	156 22.9%	8 1.2%	9 1.3%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	32 65.3%	19 38.8%	3 6.1%	18 36.7%	19 38.8%	5 10.2%	7 14.3%	7 14.3%	-	1 2.0%	49 100.0%
	20歳～29歳	34 58.6%	33 56.9%	6 10.3%	27 46.6%	28 48.3%	5 8.6%	19 32.8%	9 15.5%	-	-	58 100.0%
	30歳～39歳	58 63.7%	57 62.6%	10 11.0%	49 53.8%	51 56.0%	8 8.8%	39 42.9%	8 8.8%	1 1.1%	-	91 100.0%
	40歳～49歳	63 58.9%	62 57.9%	6 5.6%	65 60.7%	72 67.3%	8 7.5%	47 43.9%	14 13.1%	-	-	107 100.0%
	50歳～59歳	57 49.6%	62 53.9%	6 5.2%	71 61.7%	75 65.2%	14 12.2%	51 44.3%	27 23.5%	1 0.9%	1 0.9%	115 100.0%
	60歳～69歳	60 51.7%	60 51.7%	9 7.8%	73 62.9%	69 59.5%	18 15.5%	61 52.6%	38 32.8%	1 0.9%	3 2.6%	116 100.0%
	70歳～79歳	48 51.6%	55 59.1%	11 11.8%	52 55.9%	54 58.1%	29 31.2%	42 45.2%	35 37.6%	3 3.2%	1 1.1%	93 100.0%
	80歳以上	22 42.3%	20 38.5%	7 13.5%	27 51.9%	27 51.9%	13 25.0%	16 30.8%	18 34.6%	2 3.8%	3 5.8%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

「生涯学習」のイメージを年齢別にみると、30歳代までは、「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」が最も割合が高く、「趣味・教養を高めること」、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」も高い割合となっている。

40歳代から50歳代では、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」が最も割合が高く、60歳代では、「生きがいを充実すること」、70歳代では、「趣味・教養を高めること」などの割合が高くなり、年齢が上がるにつれて、「生涯学習」のイメージについて、より目的意識をもった具体的なものとなる傾向がうかがえる。

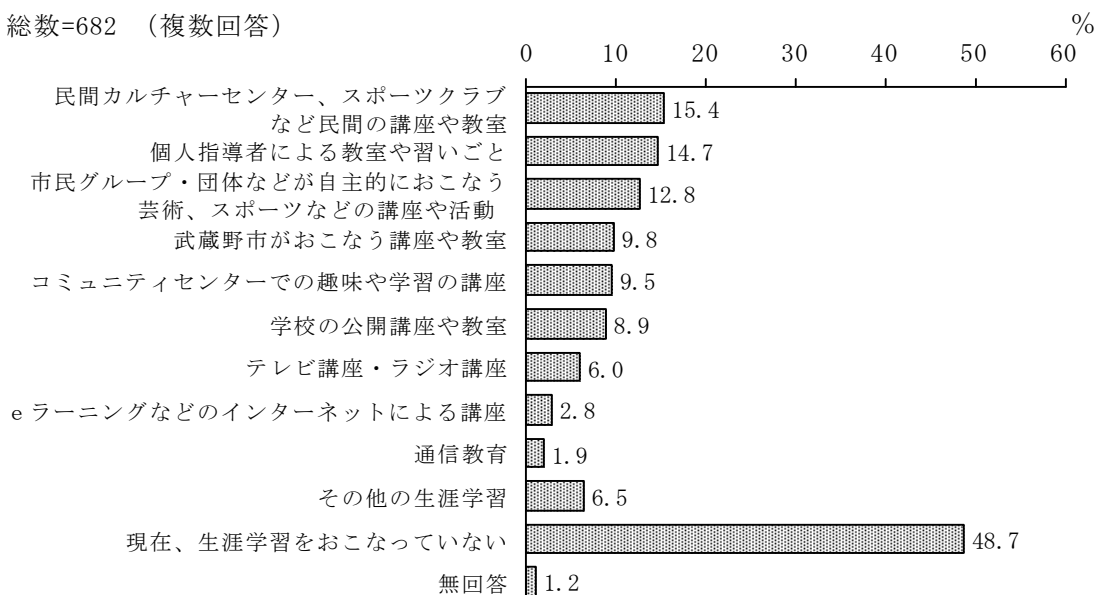
また、「自分の住んでいるまちや地域について知ること」は、70歳を超えると割合が高くなっている。

(3) 活動をおこなっている生涯学習

問3 あなたは現在、下記のような生涯学習のうち、どのような活動をおこなっていますか。
(あてはまるものすべてに○)

■問3 活動をおこなっている生涯学習

総数=682 (複数回答)



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
民間カルチャーセンター、スポーツクラブ など民間の講座や教室	105	15.4
個人指導者による教室や習いごと	100	14.7
市民グループ・団体などが自主的におこなう 芸術、スポーツなどの講座や活動	87	12.8
武蔵野市がおこなう講座や教室	67	9.8
コミュニティセンターでの趣味や学習の講座	65	9.5
学校の公開講座や教室	61	8.9
テレビ講座・ラジオ講座	41	6.0
eラーニングなどのインターネットによる講座	19	2.8
通信教育	13	1.9
その他の生涯学習	44	6.5
現在、生涯学習をおこなっていない	332	48.7
無回答	8	1.2

現在、活動をしている生涯学習について、「現在、生涯学習をおこなっていない」(48.7%)が全体の5割弱を占めており、こうした人々への何らかの取組が必要と思われる。

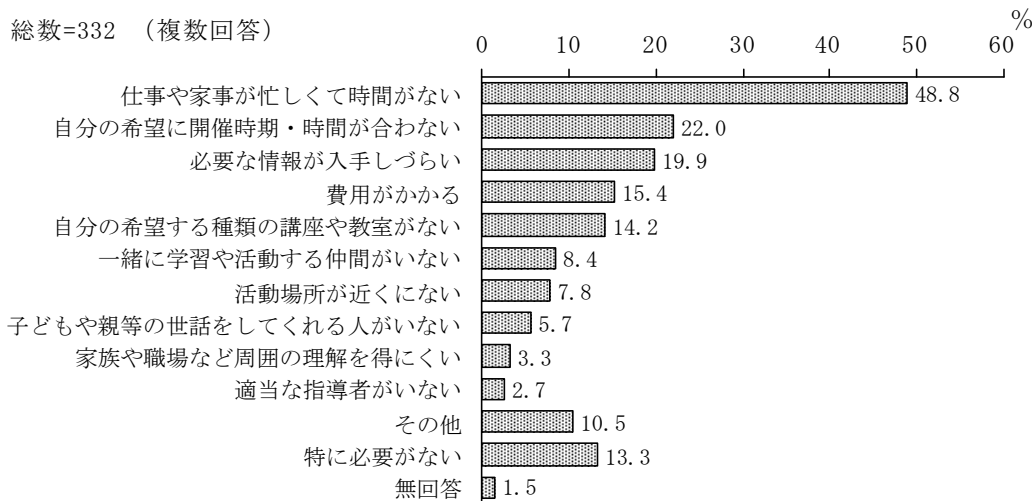
具体的な活動として、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」(15.4%)、「個人指導者による教室や習いごと」(14.7%)、「市民グループ・団体などが自主的におこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」(12.8%)、「武蔵野市がおこなう講座や教室」(9.8%)、「コミュニティセンターでの趣味や学習の講座」(9.5%)、「学校(高等学校、専修学校、各種学校、大学、大学院など)の公開講座や教室」(8.9%)、「テレビ講座・ラジオ講座」(6.0%)などの幅広い生涯学習をおこなっていることがみてとれる。

(4) 生涯学習をおこなっていない理由

問3で、「現在、生涯学習をおこなっていない」と回答された方対象。

問4 現在、生涯学習をおこなっていない方にうかがいます。生涯学習をしていない理由を選んでください。 **(あてはまるものすべてに○)**

■問4 生涯学習をおこなっていない理由



項目名 【11個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	332	100.0
仕事や家事が忙しくて時間がない	162	48.8
自分の希望に開催時期・時間が合わない	73	22.0
必要な情報が入手しづらい	66	19.9
費用がかかる	51	15.4
自分の希望する種類の講座や教室がない	47	14.2
一緒に学習や活動する仲間がない	28	8.4
活動場所が近くにない	26	7.8
子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	19	5.7
家族や職場など周囲の理解を得にくい	11	3.3
適当な指導者がいない	9	2.7
その他	35	10.5
特に必要がない	44	13.3
無回答	5	1.5

現在、生涯学習をおこなっていない理由は、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(48.8%)が最も高く5割近くを占めている。

これ以外の選択肢の項目を【機会】【情報】【人】【場所】の視点から分類整理してみると、【機会】に関することは、「自分の希望に開催時期・時間が合わない」(22.0%)、「自分の希望する種類の講座や教室がない」(14.2%)である。【情報】に関することは、「必要な情報が入手しづらい」(19.9%)で2割弱の回答がみられ、情報提供のあり方について検討する必要があると思われる。【人】に関することは、「一緒に学習や活動する仲間がない」(8.4%)と「適当な指導者がいない」(2.7%)があげられる。【場所】に関することは、「活動場所が近くにない」(7.8%)である。

■問4 生涯学習をおこなっていない理由×F1 年齢

上段：集計値
下段：構成比(%)

問4. 生涯学習を行っていない理由 【11個までの複数回答】

	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の分講の希望や望みや教室の種類	自分の希望に合わない開催時期	活動場所以が近くにない	適切な指導者がいない	一緒に学ばない活動	話をしていなくても親等の人	家族の理解を得にくく	必要な情報が入手しづらい	その他	特に必要がない	無回答	全体	
全体	51 15.4%	162 48.8%	47 14.2%	73 22.0%	26 7.8%	9 2.7%	28 8.4%	19 5.7%	11 3.3%	66 19.9%	35 10.5%	44 13.3%	5 1.5%	332 100.0%	
年齢	16歳～19歳	5 20.0%	12 48.0%	3 12.0%	1 4.0%	-	3 12.0%	-	-	2 8.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	25 100.0%	
	20歳～29歳	9 22.5%	20 50.0%	5 12.5%	9 22.5%	2 5.0%	5 12.5%	3 7.5%	1 2.5%	11 27.5%	3 7.5%	9 22.5%	-	40 100.0%	
	30歳～39歳	6 13.0%	38 82.6%	6 13.0%	14 30.4%	6 13.0%	-	3 6.5%	5 10.9%	-	8 17.4%	1 2.2%	2 4.3%	46 100.0%	
	40歳～49歳	14 22.2%	42 66.7%	14 22.2%	13 20.6%	5 7.9%	2 3.2%	3 4.8%	7 11.1%	3 4.8%	12 19.0%	3 4.8%	4 6.3%	63 100.0%	
	50歳～59歳	8 14.5%	33 60.0%	8 14.5%	14 25.5%	3 5.5%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	3 5.5%	11 20.0%	3 5.5%	6 10.9%	55 100.0%	
	60歳～69歳	6 12.5%	11 22.9%	6 12.5%	16 33.3%	5 10.4%	3 6.3%	4 8.3%	1 2.1%	3 6.3%	11 22.9%	7 14.6%	5 10.4%	2 4.2%	48 100.0%
	70歳～79歳	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%	1 3.0%	6 18.2%	1 3.0%	1 3.0%	8 24.2%	5 15.2%	8 24.2%	2 6.1%	33 100.0%
	80歳以上	1 4.8%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	2 9.5%	-	-	3 14.3%	8 38.1%	6 28.6%	-	21 100.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

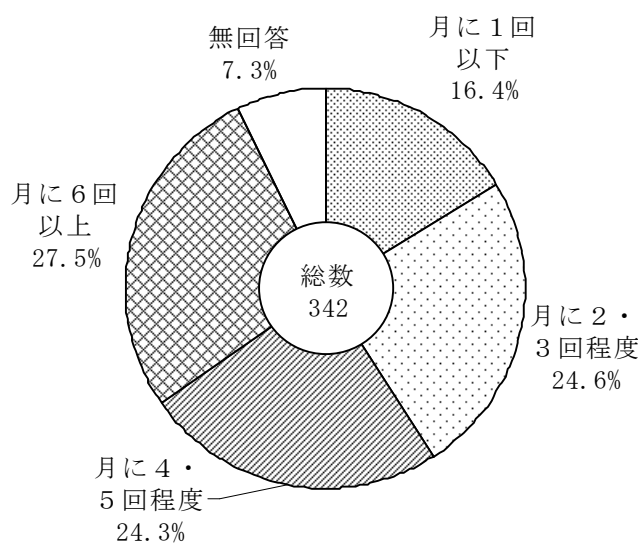
生涯学習をおこなっていない理由を年齢別にみると、全体的な傾向と変わらない傾向がうかがえる。「50歳～59歳」では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」の割合が最も高く、「60歳～69歳」では、「自分の希望に開催時期・時間が合わない」の割合が高いことがみてとれる。また、「必要な情報が入手しづらい」は、ほとんどの年齢層で高い傾向がうかがえる。

(5) 生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所

問3で、選択肢「1.~10.」に○をつけられた方（何らかの生涯学習をしている方）対象。

問5 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。月平均でどのくらいおこなっていますか。複数の学習をおこなっている方は、合計した回数をお答えください。また、主な活動場所はどこですか。 **(○は1つずつ)**

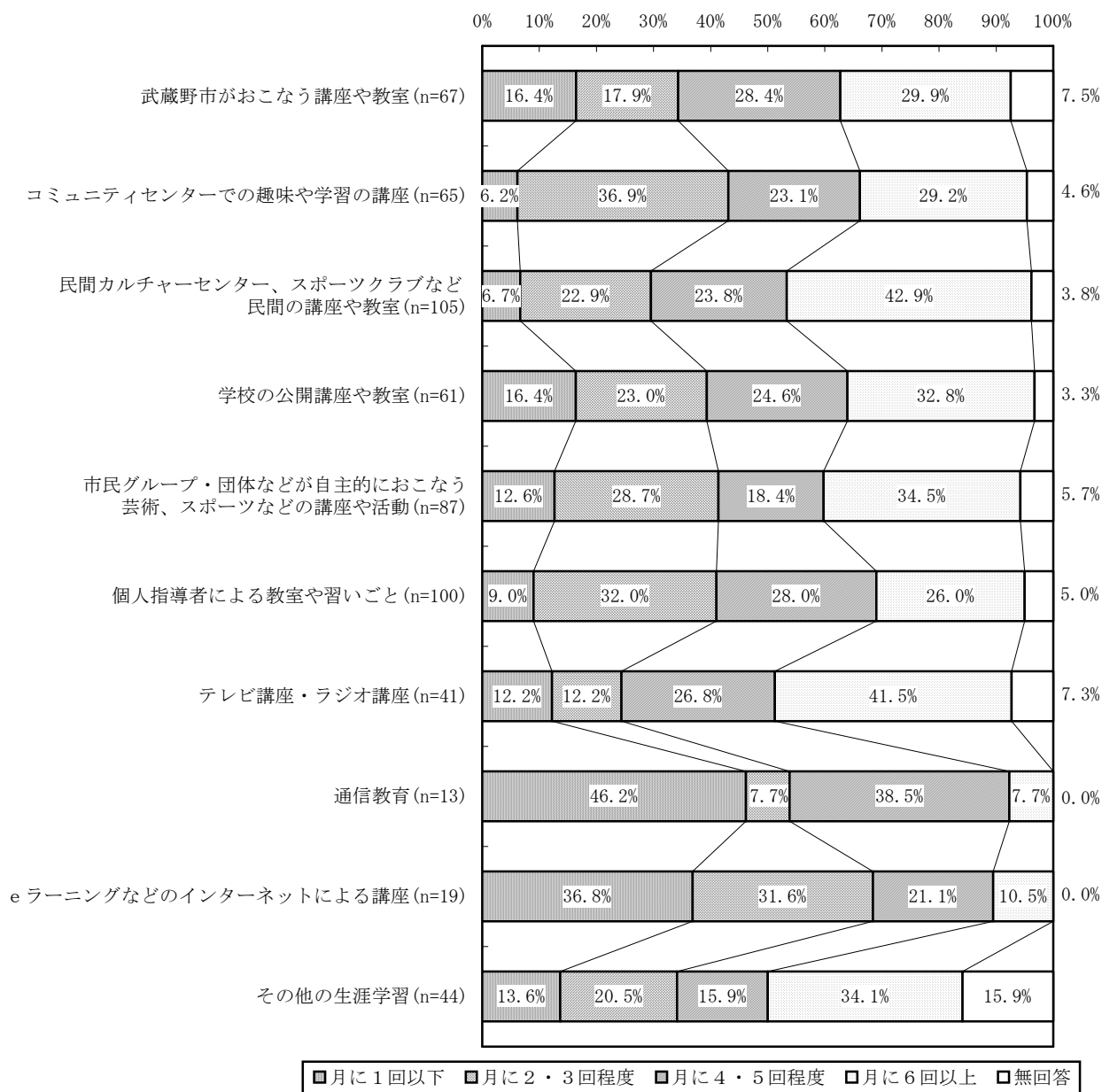
■問5 生涯学習をおこなっている頻度



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
月に1回以下	56	16.4
月に2・3回程度	84	24.6
月に4・5回程度	83	24.3
月に6回以上	94	27.5
無回答	25	7.3

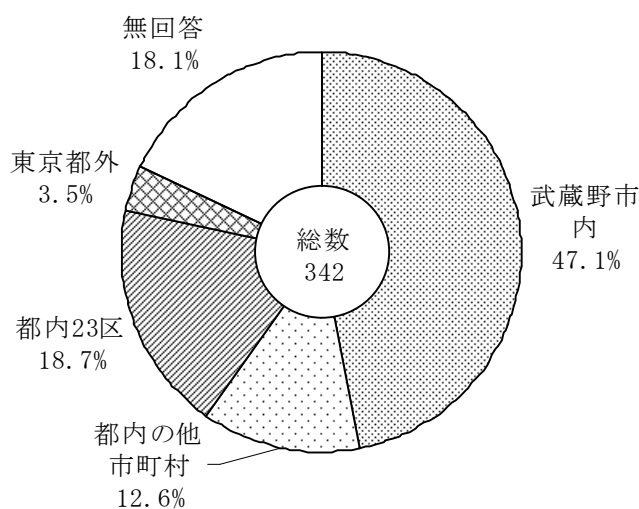
生涯学習をおこなっている頻度は、週に1回程度は生涯学習をおこなっていると思われる「月に6回以上」(27.5%)と「月に4・5回程度」(24.3%)を合すると5割以上ある。さらに、隔週の頻度で生涯学習をおこなっていると思われる「月に2・3回程度」(24.6%)を加えると7割以上であることがみてとれる。

■問5 生涯学習をおこなっている頻度×問3 活動をおこなっている生涯学習



生涯学習の活動頻度を活動の内容別で見ると、頻度が「月に6回以上」で4割を超えるものは、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」と「テレビ講座・ラジオ講座」であり、3割を超えるものは、「学校の公開講座や教室」と「市民グループ・団体などが自主的におこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」、「その他の生涯学習」である。

■問5 生涯学習をおこなっている主な活動場所



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
武蔵野市内	161	47.1
都内の他市町村	43	12.6
都内23区	64	18.7
東京都外	12	3.5
無回答	62	18.1

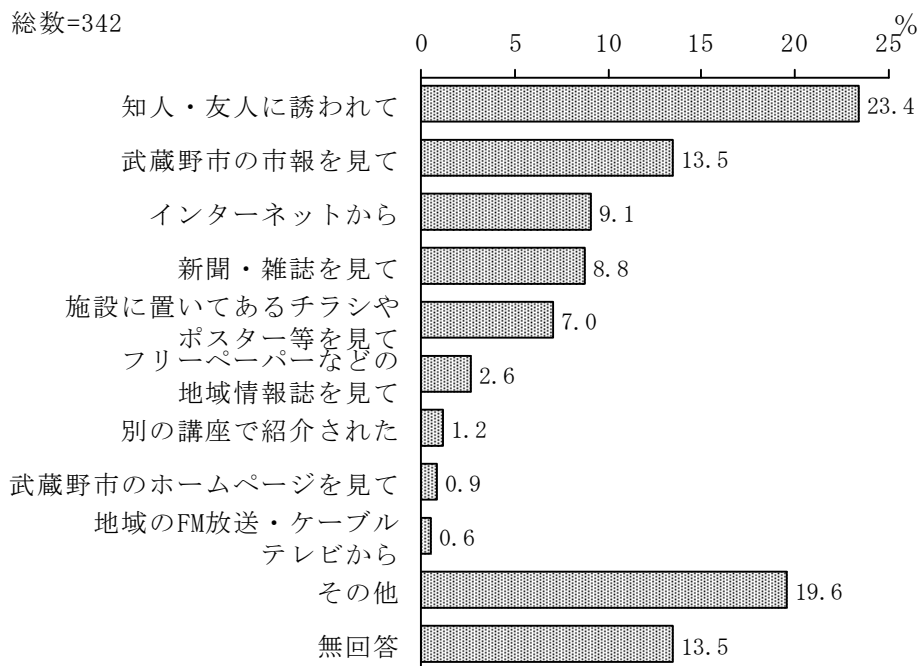
生涯学習をおこなっている主な活動場所は、「武蔵野市内」が5割弱を占めており、身近な場所での活動が高い傾向がうかがえる。

一方で、市外も「都内23区」(18.7%)と「都内の他市町村」(12.6%)、「東京都外」(3.5%)を合すると3割以上の利用があることから、行政区域を越えた活動をしていることがうかがえる。

(6) 生涯学習をおこなうきっかけ

問6 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。あなたが生涯学習をおこなうようになったきっかけは何ですか。 (〇は1つだけ)

■問6 生涯学習をおこなうきっかけ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
知人・友人に誘われて	80	23.4
武蔵野市の市報を見て	46	13.5
インターネットから	31	9.1
新聞・雑誌を見て	30	8.8
施設に置いてあるチラシやポスター等を見て	24	7.0
フリーペーパーなどの地域情報誌を見て	9	2.6
別の講座で紹介された	4	1.2
武蔵野市のホームページを見て	3	0.9
地域のFM放送・ケーブルテレビから	2	0.6
その他	67	19.6
無回答	46	13.5

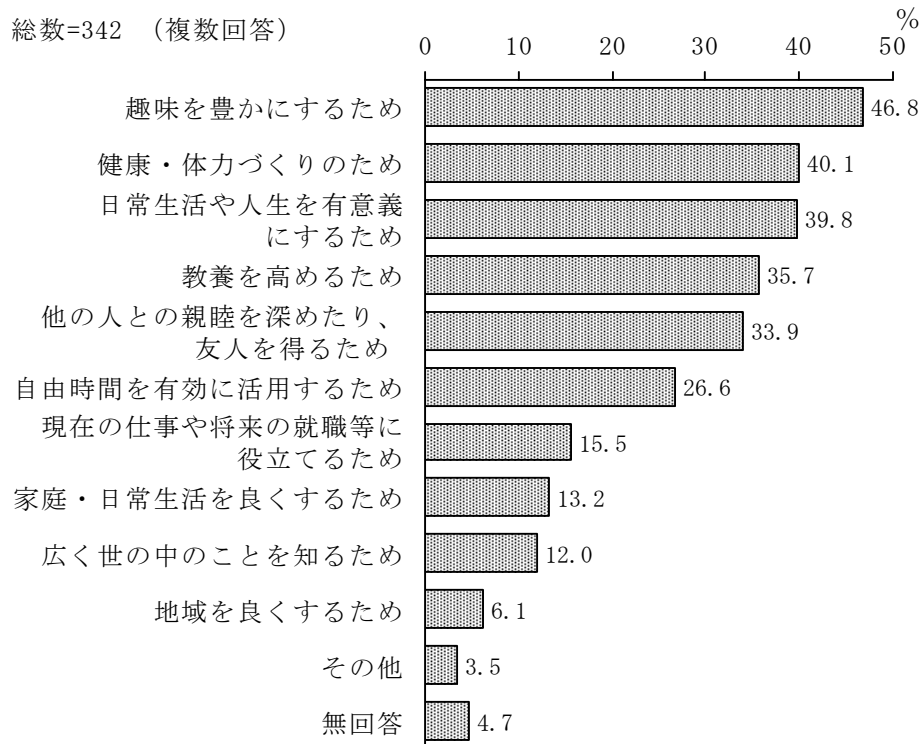
生涯学習をおこなうきっかけは、「知人・友人に誘われて」(23.4%)が最も高く、身近な人から直接誘われることが強い傾向にあり、「武蔵野市の市報を見て」(13.5%)は2番目に高い。それ以外の情報誌紙は、「新聞・雑誌を見て」(8.8%)と「施設に置いてあるチラシやポスター等を見て」(7.0%)、「フリーペーパーなどの地域情報誌を見て」(2.6%)を合すると2割弱あることが分かる。

また、「その他」(19.6%)を含め、「インターネットから」(9.1%)、「別の講座で紹介された」(1.2%)、「武蔵野市のホームページを見て」(0.9%)、「地域のFM放送・ケーブルテレビから」(0.6%)など多様なきっかけがあることがみとれる。

(7) 生涯学習をおこなっている理由・目的

問7 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をしている理由、目的は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

■問7 生涯学習をおこなっている理由・目的



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
趣味を豊かにするため	160	46.8
健康・体力づくりのため	137	40.1
日常生活や人生を有意義にするため	136	39.8
教養を高めるため	122	35.7
他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	116	33.9
自由時間を有効に活用するため	91	26.6
現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	53	15.5
家庭・日常生活を良くするため	45	13.2
広く世の中のことを知るため	41	12.0
地域を良くするため	21	6.1
その他	12	3.5
無回答	16	4.7

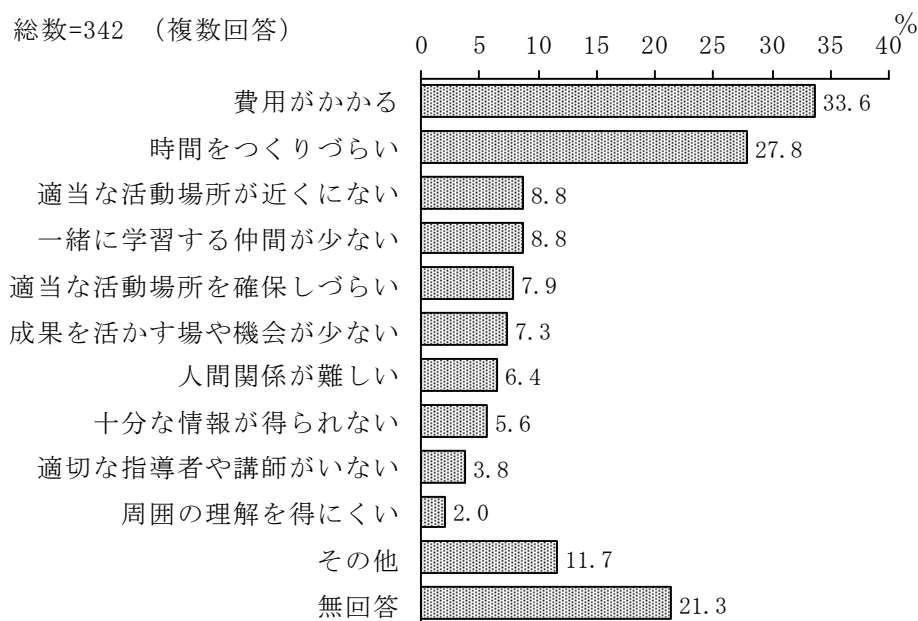
生涯学習をしている理由、目的は、「趣味を豊かにするため」(46.8%)、「健康・体力づくりのため」(40.1%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(39.8%)、「教養を高めるため」(35.7%) など個人の人生や暮らしを充実していくことが大きな理由、目的であることが分かる。

一方で、仲間づくりや地域貢献に関する「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(33.9%) や「地域を良くするため」(6.1%) などのニーズがあることがうかがえる。

(8) 生涯学習をおこなううえで困っていること

問8 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をおこなううえで困っていることがありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。(あてはまるものすべてに○)

■問8 生涯学習をおこなううえで困っていること



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
費用がかかる	115	33.6
時間をつくりづらい	95	27.8
適当な活動場所が近くにない	30	8.8
一緒に学習する仲間が少ない	30	8.8
適当な活動場所を確保しづらい	27	7.9
成果を活かす場や機会が少ない	25	7.3
人間関係が難しい	22	6.4
十分な情報が得られない	19	5.6
適切な指導者や講師がいない	13	3.8
周囲の理解を得にくい	7	2.0
その他	40	11.7
無回答	73	21.3

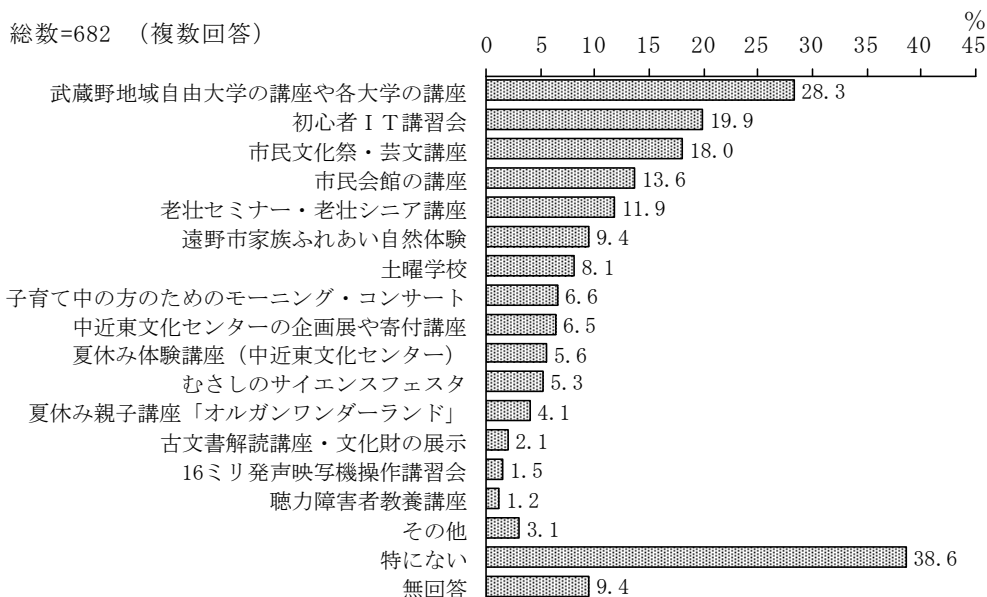
生涯学習をおこなううえで困っていることは、「費用がかかる」(33.6%)、「時間をつくりづらい」(27.8%)が高く約3割となっている。

これら以外の選択肢の項目を【人】【場所】【機会】【情報】の視点から分類整理してみると、【人】に関することは、「一緒に学習する仲間が少ない」(8.8%)や「人間関係が難しい」(6.4%)、「適切な指導者や講師がいない」(3.8%)があげられる。【場所】に関することは、「適当な活動場所が近くにない」(8.8%)と「適当な活動場所を確保しづらい」(7.9%)である。【機会】に関することは、「成果を活かす場や機会が少ない」(7.3%)、【情報】に関することは、「十分な情報が得られない」(5.6%)があげられる。

(9) 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの

問9 市では、現在、生涯学習に関する事業を主催または他団体等との共催でおこなっています。次のうち、知っているもの、または参加・利用したことがあるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

■問9 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの



項目名 【16個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野地域自由大学の講座や各大学の講座	193	28.3
初心者IT講習会	136	19.9
市民文化祭・芸文講座	123	18.0
市民会館の講座	93	13.6
老壮セミナー・老壮シニア講座	81	11.9
遠野市家族ふれあい自然体験	64	9.4
土曜学校	55	8.1
子育て中の方のためのモーニング・コンサート	45	6.6
中近東文化センターの企画展や寄付講座	44	6.5
夏休み体験講座(中近東文化センター)	38	5.6
むさしのサイエンスフェスタ	36	5.3
夏休み親子講座「オルガンワンダーランド」	28	4.1
古文書解読講座・文化財の展示	14	2.1
16ミリ発声映写機操作講習会	10	1.5
聴力障害者教養講座	8	1.2
その他	21	3.1
特にない	263	38.6
無回答	64	9.4

市の生涯学習の事業について、いずれも3割未満の認知、または参加・利用となっていることがみてとれる。

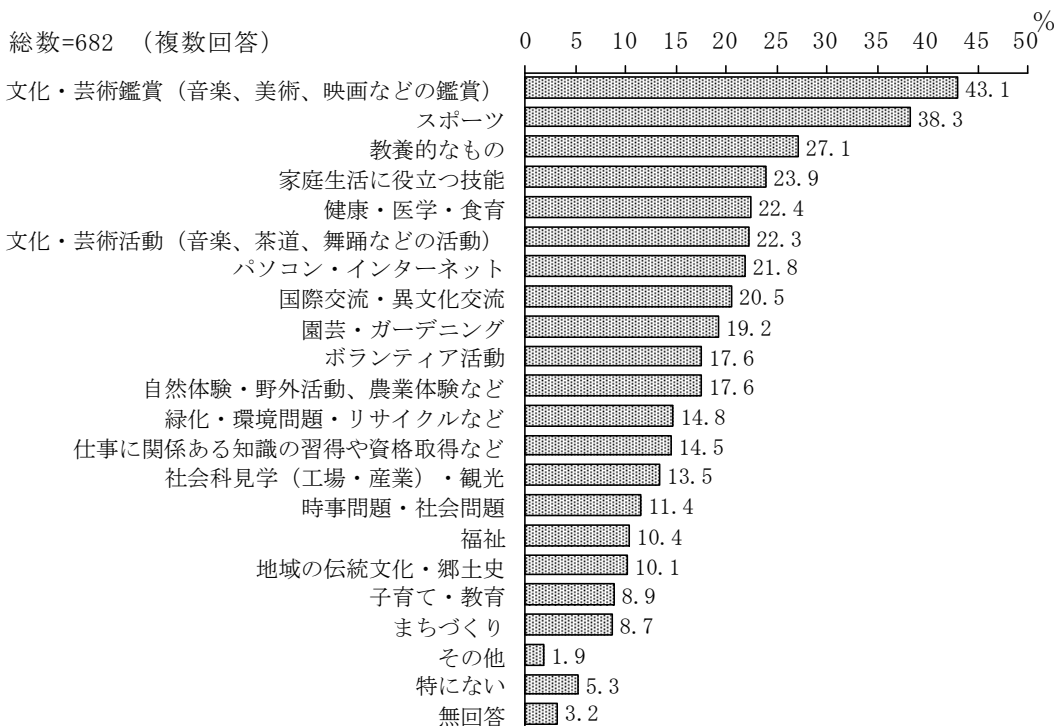
一方で、「特にない」(38.6%)が4割弱となっており、周知や参加・利用の促進を図ることが求められていると思われる。

3 今後のニーズなど

(1) 生涯学習をする場合に興味があること

問10 今後、生涯学習をする場合、どのようなことに興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

■問10 生涯学習をする場合に興味があること



項目名 【20個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
文化・芸術鑑賞 (音楽、美術、映画などの鑑賞)	294	43.1
スポーツ	261	38.3
教養的なもの	185	27.1
家庭生活に役立つ技能	163	23.9
健康・医学・食育	153	22.4
文化・芸術活動 (音楽、茶道、舞踊などの活動)	152	22.3
パソコン・インターネット	149	21.8
国際交流・異文化交流	140	20.5
園芸・ガーデニング	131	19.2
ボランティア活動	120	17.6
自然体験・野外活動、農業体験など	120	17.6
緑化・環境問題・リサイクルなど	101	14.8
仕事に関係ある知識の習得や資格取得など	99	14.5
社会科見学 (工場・産業)・観光	92	13.5
時事問題・社会問題	78	11.4
福祉	71	10.4
地域の伝統文化・郷土史	69	10.1
子育て・教育	61	8.9
まちづくり	59	8.7
その他	13	1.9
特にない	36	5.3
無回答	22	3.2

今後、生涯学習をする場合にどんなことに興味があるかについて、「文化・芸術鑑賞（音楽、美術、映画などの鑑賞）」（43.1%）と「スポーツ」（38.3%）が約4割と高い割合となっている。それ以外の興味については、いずれも1割弱から2割台の間であり、幅広い関心があることがうかがえる。

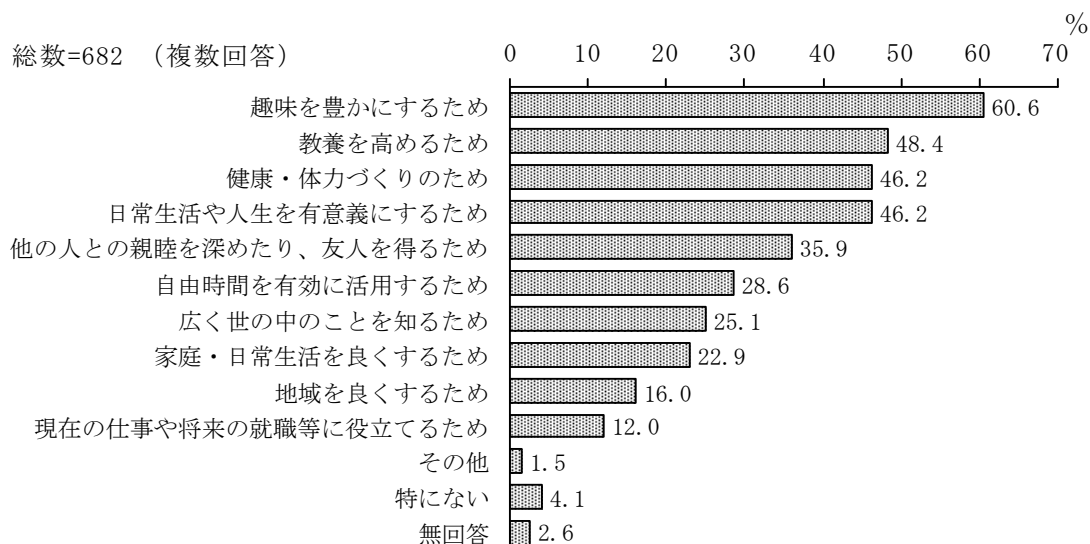
また、問9「市の生涯学習に関する事業の認知、または参加・利用」では、「特にない」（38.6%）が4割弱となっているが、今後の興味では、「特にない」（5.3%）が減少しており、市の事業に参加・利用したことがなくても、生涯学習には興味があることがみてとれる。

それら以外の選択肢の項目を【身近な緑、自然、環境問題】【地域】【健康】【文化芸術】の視点から分類整理してみると、【身近な緑、自然、環境問題】に関することは、「園芸・ガーデニング」（19.2%）や「自然体験・野外活動・農業体験」（17.6%）、「緑化・環境問題・リサイクル」（14.8%）があげられる。【地域】に関することは、「社会科見学（工場・産業）・観光」（13.5%）や「地域の伝統文化・郷土史」（10.1%）、「まちづくり」（8.7%）である。【健康】に関することは、「健康・医学・食育」（22.4%）、【文化芸術】に関することは、「文化・芸術活動（音楽、茶道、舞踊などの活動）」（22.3%）であり、いずれも関心の高いテーマであることが分かる。

(2) 生涯学習をおこなう理由・目的

問11 今後、生涯学習をする場合、おこなう理由・目的はどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

■問11 生涯学習をおこなう理由・目的



項目名 【11個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
趣味を豊かにするため	413	60.6
教養を高めるため	330	48.4
健康・体力づくりのため	315	46.2
日常生活や人生を有意義にするため	315	46.2
他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	245	35.9
自由時間を有効に活用するため	195	28.6
広く世の中のことを知るため	171	25.1
家庭・日常生活を良くするため	156	22.9
地域を良くするため	109	16.0
現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	82	12.0
その他	10	1.5
特にない	28	4.1
無回答	18	2.6

今後、生涯学習をおこなう理由や目的について、「趣味を豊かにするため」(60.6%)が問7の「現在、生涯学習をしている理由・目的」と同様に一番高い割合を示している。「教養を高めるため」(48.4%)、「健康・体力づくりのため」(46.2%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(46.2%)など個人の人生や暮らしを充実していくことが大きな理由、目的であることがみてとれる。

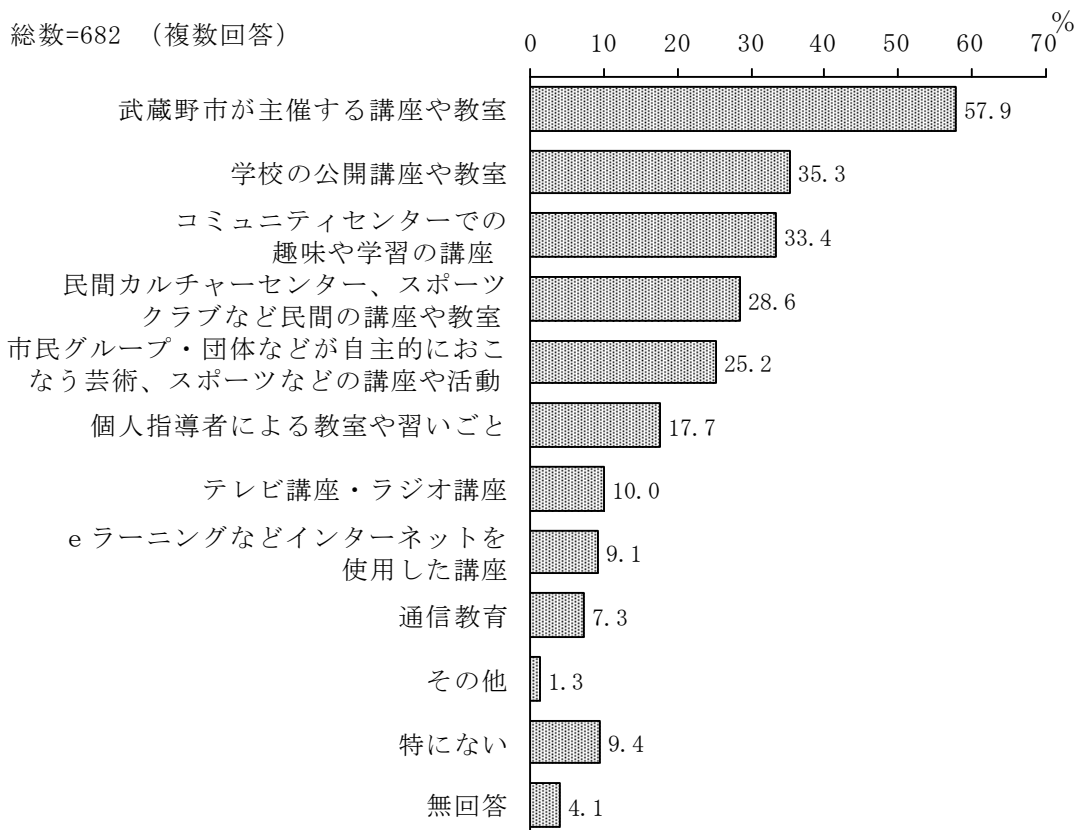
また、問7でも「趣味を豊かにするため」(46.8%)、「健康・体力づくりのため」(40.1%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(39.8%)、「教養を高めるため」(35.7%)が高い割合を示しており、全体をつうじて、現在と今後で生涯学習をおこなう理由や目的については、問11で現在、生涯学習をおこなっていない人も含めた結果をみても、同じような傾向であることがうかがえる。

仲間づくりや地域貢献のニーズは、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(35.9%)と「地域を良くするため」(16.0%)であることから、問7でみた現在のニーズよりも今後のほうが高い傾向であることがうかがえる。

(3) 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会

問12 今後、生涯学習をする場合、どのような機会を利用したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

■問12 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市が主催する講座や教室	395	57.9
学校の公開講座や教室	241	35.3
コミュニティセンターでの趣味や学習の講座	228	33.4
民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室	195	28.6
市民グループ・団体などが自主的にこなう芸術、スポーツなどの講座や活動	172	25.2
個人指導者による教室や習いごと	121	17.7
テレビ講座・ラジオ講座	68	10.0
eラーニングなどインターネットを使用した講座	62	9.1
通信教育	50	7.3
その他	9	1.3
特にない	64	9.4
無回答	28	4.1

今後、生涯学習をおこなう場合に利用したい機会は、「武蔵野市が主催する講座や教室」(57.9%)が最も高い割合を示しており、全体としては6割弱から1割台まで幅広いニーズがあることがうかがえる。

3割台のものは、「学校の公開講座や教室」(35.3%)と「コミュニティセンターでの趣味や学習の講座」(33.4%)である。

2割台のものは、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」(28.6%)と「市民グループ・団体などが自主的にこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」(25.2%)である。

1割台のものは、「個人指導者による教室や習いごと」(17.7%)と「テレビ講座・ラジオ講座」(10.0%)である。

1割未満のものは、「eラーニングなどインターネットを使用した講座」(9.1%)と「通信教育」(7.3%)である。

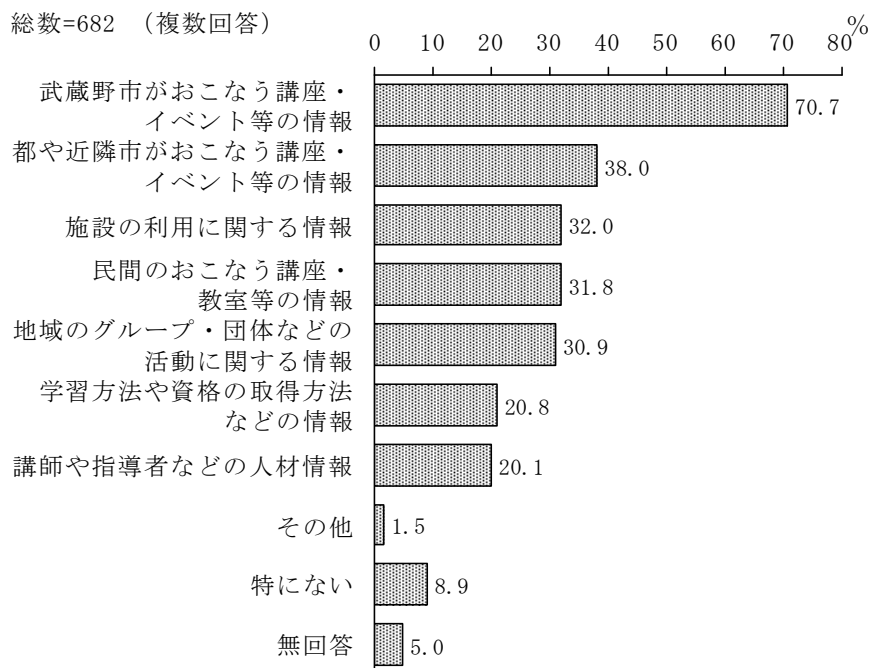
問3の「現在、活動をしている生涯学習」と比べると、問3では4番目であった「武蔵野市が主催する講座や教室」(57.9%)が、今後利用したい機会では一番高い割合であり、市の主催する講座や教室に対するニーズが高いことがうかがえる。

また、問3では、「現在、生涯学習をおこなっていない」人の割合は、48.7%と5割弱を占めていたが、本設問の今後利用したい機会では、「特にない」(9.4%)は1割弱になっており、現在、生涯学習をおこなっていない人でも関心があることがみてとれる。

(4) 生涯学習をおこなうために必要な情報

問13 生涯学習をするために、どのような情報が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

■問13 生涯学習をおこなうために必要な情報



項目名 【8つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報	482	70.7
都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報	259	38.0
施設の利用に関する情報	218	32.0
民間のおこなう講座・教室等の情報	217	31.8
地域のグループ・団体などの活動に関する情報	211	30.9
学習方法や資格の取得方法などの情報	142	20.8
講師や指導者などの人材情報	137	20.1
その他	10	1.5
特にない	61	8.9
無回答	34	5.0

生涯学習をおこなうために必要な情報は、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」(70.7%) が7割を超え最も高い割合を示している。市外や民間の講座等の情報は、「都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報」(38.0%) や「民間のおこなう講座・教室等の情報」(31.8%) があげられる。地域の団体や人材など人に関する情報としては、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」(30.9%) や「講師や指導者などの人材情報」(20.1%) があげられ関心のあることがうかがえる。施設利用に関する情報は、「施設の利用に関する情報」(32.0%) となっている。

■問13 生涯学習をおこなうために必要な情報×F1 年齢

上段：集計値
下段：構成比（%）

問13. 生涯学習をおこなうために必要な情報 【8つまでの複数回答】

		武蔵野市が おこなう 講座・イ ンフォ メーシ ョンの 情報	都や近 隣市が おこな う講座 ・イベ ント等 の情報	民間の おこな う講座 ・教室 等の情 報	地域の グルー プ・団 体など の活動 に関する 情報	講師や 指導者 などの 人材情 報	施設に 関する 情報	学習方 法や資 格の取 得方法 などの 情報	その他	特にな い	無回 答	全 体
全体		482 70.7%	259 38.0%	217 31.8%	211 30.9%	137 20.1%	218 32.0%	142 20.8%	10 1.5%	61 8.9%	34 5.0%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	28 57.1%	16 32.7%	11 22.4%	12 24.5%	12 24.5%	18 36.7%	18 36.7%	-	8 16.3%	-	49 100.0%
	20歳～29歳	39 67.2%	23 39.7%	17 29.3%	15 25.9%	10 17.2%	21 36.2%	25 43.1%	2 3.4%	3 5.2%	-	58 100.0%
	30歳～39歳	67 73.6%	47 51.6%	43 47.3%	27 29.7%	19 20.9%	31 34.1%	29 31.9%	3 3.3%	4 4.4%	1 1.1%	91 100.0%
	40歳～49歳	81 75.7%	48 44.9%	45 42.1%	27 25.2%	25 23.4%	37 34.6%	24 22.4%	1 0.9%	6 5.6%	1 0.9%	107 100.0%
	50歳～59歳	93 80.9%	50 43.5%	41 35.7%	47 40.9%	21 18.3%	31 27.0%	26 22.6%	1 0.9%	8 7.0%	6 5.2%	115 100.0%
	60歳～69歳	87 75.0%	45 38.8%	37 31.9%	49 42.2%	25 21.6%	38 32.8%	17 14.7%	1 0.9%	7 6.0%	7 6.0%	116 100.0%
	70歳～79歳	64 68.8%	23 24.7%	20 21.5%	20 21.5%	21 22.6%	33 35.5%	3 3.2%	2 2.2%	11 11.8%	8 8.6%	93 100.0%
	80歳以上	23 44.2%	7 13.5%	3 5.8%	14 26.9%	4 7.7%	9 17.3%	-	-	13 25.0%	11 21.2%	52 100.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習をおこなうために必要な情報を年齢別でみると、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」はどの年齢層でも最も高い割合を占めており、「都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報」や「民間のおこなう講座・教室等の情報」も含めて、講座・イベントに関する情報が高い傾向がうかがえる。

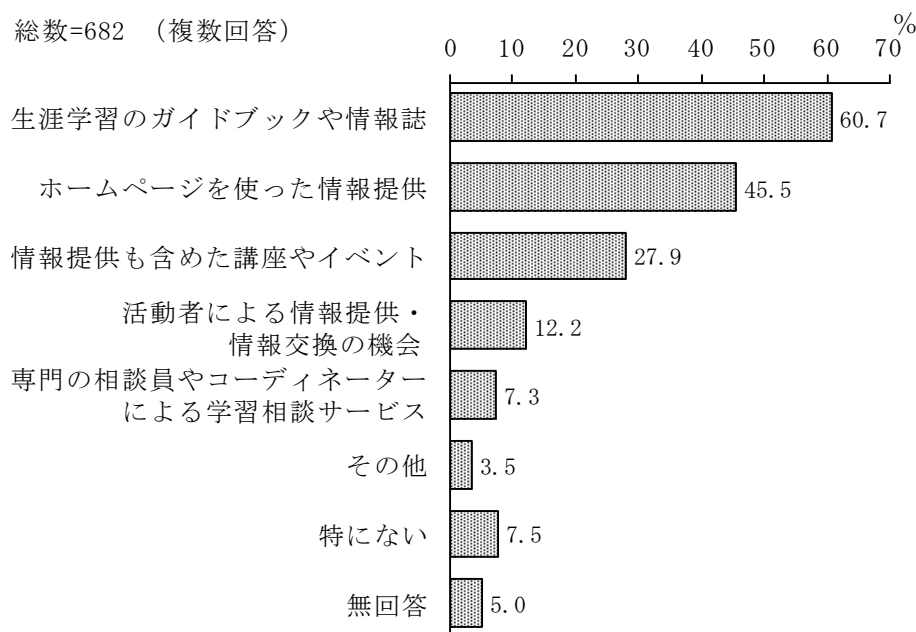
30歳代から40歳代では、「民間のおこなう講座・教室等の情報」が他の世代よりも高い傾向がみとれる。

50歳代から60歳代では、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」が他の世代よりも高い傾向にあり、地域に関する情報を求めている世代であることがみとれる。

(5) 生涯学習に関する情報の入手方法

問14 生涯学習に関する情報を入手するためには、どのようなものがあるとよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

■問14 生涯学習に関する情報の入手方法



項目名 【6つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
生涯学習のガイドブックや情報誌	414	60.7
ホームページを使った情報提供	310	45.5
情報提供も含めた講座やイベント	190	27.9
活動者による情報提供・情報交換の機会	83	12.2
専門の相談員やコーディネーターによる学習相談サービス	50	7.3
その他	24	3.5
特にない	51	7.5
無回答	34	5.0

生涯学習に関する情報の入手方法は、「生涯学習のガイドブックや情報誌」(60.7%)と「ホームページを使った情報提供」(45.5%)の割合が高く充実が求められている。

また、「情報提供も含めた講座やイベント」(27.9%)など、イベント時を活用した情報の入手方法についても高い傾向にあることがうかがえる。

これら以外の「活動者による情報提供・情報交換の機会」(12.2%)、「専門の相談員やコーディネーターによる学習相談サービス」(7.3%)などを含め、情報の入手方法について、多様なニーズがあることがみとれる。

■問14 生涯学習に関する情報の入手方法×F1 年齢

上段：集計値
下段：構成比（%）

問14. 生涯学習に関する情報の入手方法 【6つまでの複数回答】

		生涯学習のガイドブックや情報誌	ホームページを使った情報提供	ネットサービスによる学習相談	専門の相談員やコーディネート講座やイベント	情報提供も含めた講座やイベント	活動者による情報提供・情報交換の機会	その他	特になし	無回答	全体
全体		414 60.7%	310 45.5%	50 7.3%	190 27.9%	83 12.2%	24 3.5%	51 7.5%	34 5.0%	682 100.0%	
年齢	16歳～19歳	27 55.1%	30 61.2%	2 4.1%	9 18.4%	5 10.2%	2 4.1%	6 12.2%	-	49 100.0%	
	20歳～29歳	35 60.3%	42 72.4%	4 6.9%	11 19.0%	3 5.2%	5 8.6%	1 1.7%	-	58 100.0%	
	30歳～39歳	60 65.9%	62 68.1%	6 6.6%	23 25.3%	9 9.9%	4 4.4%	1 1.1%	-	91 100.0%	
	40歳～49歳	68 63.6%	64 59.8%	5 4.7%	30 28.0%	13 12.1%	1 0.9%	4 3.7%	2 1.9%	107 100.0%	
	50歳～59歳	73 63.5%	62 53.9%	6 5.2%	38 33.0%	13 11.3%	5 4.3%	6 5.2%	4 3.5%	115 100.0%	
	60歳～69歳	79 68.1%	33 28.4%	15 12.9%	40 34.5%	20 17.2%	2 1.7%	10 8.6%	6 5.2%	116 100.0%	
	70歳～79歳	54 58.1%	13 14.0%	9 9.7%	34 36.6%	15 16.1%	3 3.2%	11 11.8%	10 10.8%	93 100.0%	
	80歳以上	17 32.7%	4 7.7%	3 5.8%	5 9.6%	5 9.6%	2 3.8%	12 23.1%	12 23.1%	52 100.0%	
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習に関する情報の入手方法を年齢別にみると、ほとんどの年代で「生涯学習のガイドブックや情報誌」の割合が高いことが分かる。

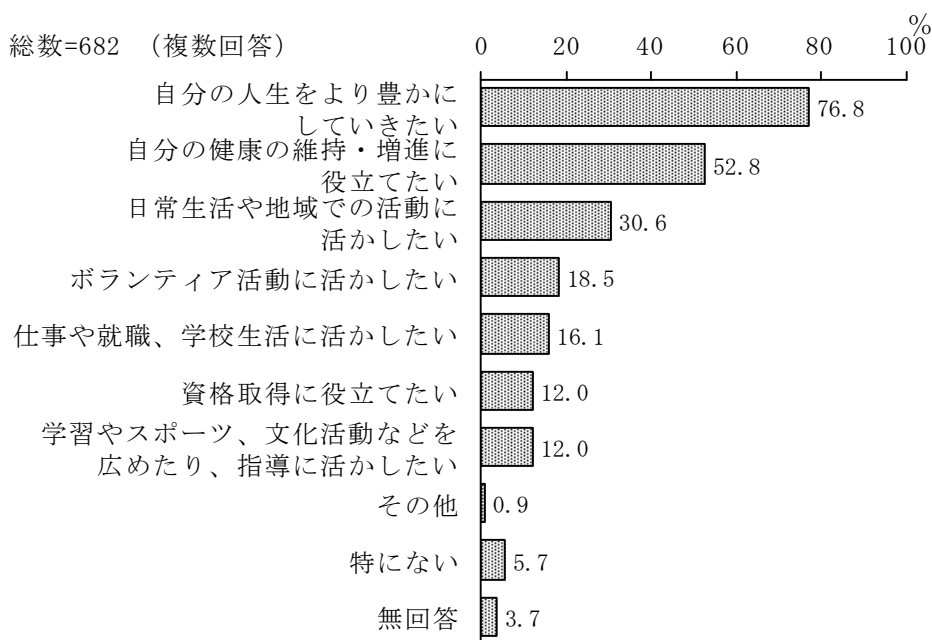
そのうち、「ホームページを使った情報提供」は、「20歳～29歳」をピークに年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にあるものの、40歳代までは、「生涯学習のガイドブックや情報誌」と同程度の割合を占めている。

「情報提供も含めた講座やイベント」は、年齢が高くなるにつれて、徐々に割合が高くなる傾向がうかがえる。

(6) 生涯学習で身につけたことの活かし方

問15 生涯学習をつうじて身につけたことをどのように活かしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

■問15 生涯学習で身につけたことの活かし方



項目名 【8つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
自分の人生をより豊かにしていきたい	524	76.8
自分の健康の維持・増進に役立てたい	360	52.8
日常生活や地域での活動に活かしたい	209	30.6
ボランティア活動に活かしたい	126	18.5
仕事や就職、学校生活に活かしたい	110	16.1
資格取得に役立てたい	82	12.0
学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしたい	82	12.0
その他	6	0.9
特にない	39	5.7
無回答	25	3.7

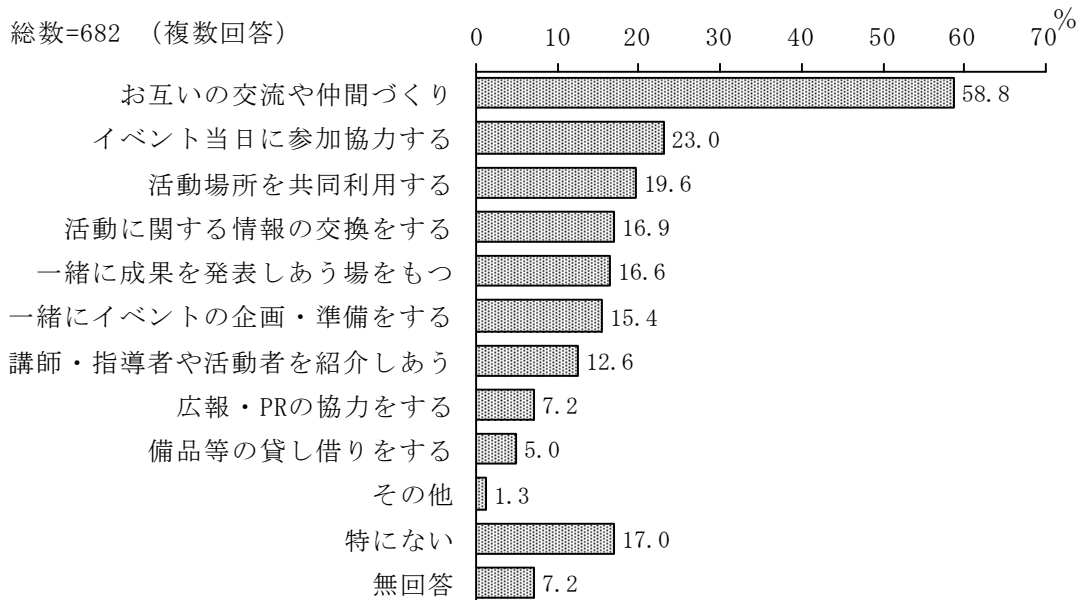
生涯学習で身につけたことの活かし方について、「自分の人生をより豊かにしていきたい」(76.8%) が最も高く、「自分の健康の維持・増進に役立てたい」(52.8%) などを含め、個人の人生を充実したものとしたいという傾向が高いことがみてとれる。

また、地域活動やボランティア活動に関する「日常生活や地域での活動に活かしたい」(30.6%) と「ボランティア活動に活かしたい」(18.5%) や、学習成果の指導・普及促進に関する「学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしたい」(12.0%) のように、直接自分自身ではなく、社会に働きかけることについても関心があることがうかがえる。

(7) 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること

問16 生涯学習に関する活動をつうじて、市民どうしで協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。**(あてはまるものすべてに○)**

■問16 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
お互いの交流や仲間づくり	401	58.8
イベント当日に参加協力する	157	23.0
活動場所を共同利用する	134	19.6
活動に関する情報の交換をする	115	16.9
一緒に成果を発表しあう場をもつ	113	16.6
一緒にイベントの企画・準備をする	105	15.4
講師・指導者や活動者を紹介しあう	86	12.6
広報・PRの協力をする	49	7.2
備品等の貸し借りをする	34	5.0
その他	9	1.3
特にない	116	17.0
無回答	49	7.2

市民どうしが協力（協働）したいことは、「お互いの交流や仲間づくり」（58.8%）が最も高い割合を示している。

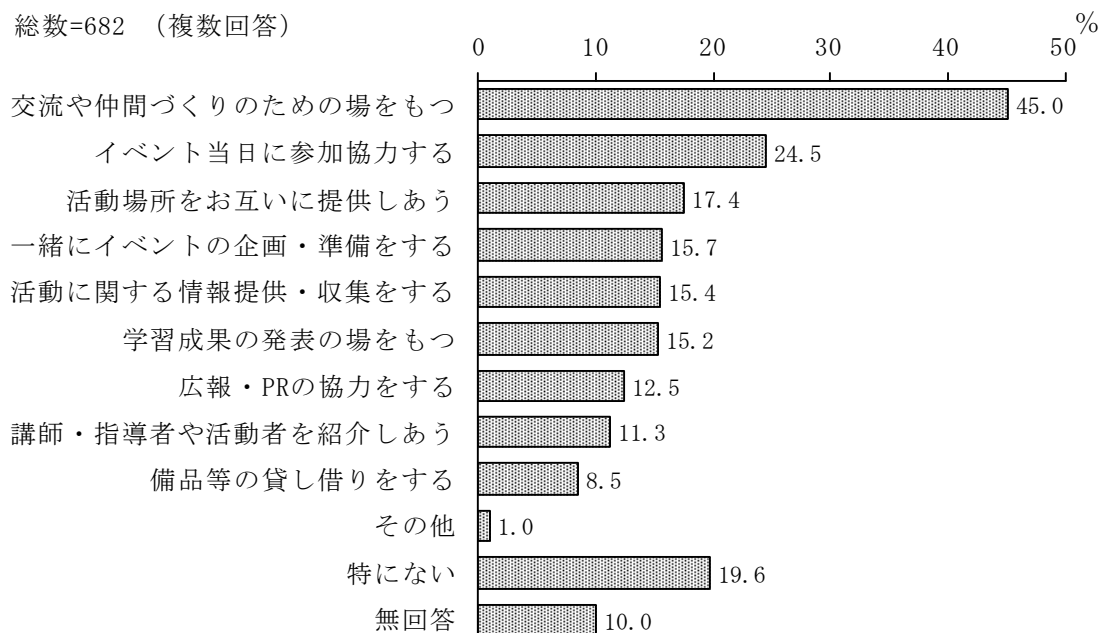
それ以外の選択肢の項目を【人・交流】【イベント】【情報】【場所】の視点から分類整理してみると、【人・交流】に関しては、「一緒に成果を発表しあう場をもつ」（16.6%）と「講師・指導者や活動者を紹介しあう」（12.6%）があげられ、人的な交流や仲間づくりといったニーズがあることが分かる。【イベント】に関することは、「イベント当日に参加協力する」（23.0%）と「一緒にイベントの企画・準備をする」（15.4%）である。【情報】に関することは、「活動に関する情報の交換をする」（16.9%）と「広報・PRの協力をする」（7.2%）があげられる。【場所】に関することは、「活動場所を共同利用する」（19.6%）である。

(8) 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること

問17 生涯学習に関する活動をつうじて、市と協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。 **(あてはまるものすべてに○)**

■問17 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること

総数=682 (複数回答)



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
交流や仲間づくりのための場をもつ	307	45.0
イベント当日に参加協力する	167	24.5
活動場所をお互いに提供しあう	119	17.4
一緒にイベントの企画・準備をする	107	15.7
活動に関する情報提供・収集をする	105	15.4
学習成果の発表の場をもつ	104	15.2
広報・PRの協力をする	85	12.5
講師・指導者や活動者を紹介しあう	77	11.3
備品等の貸し借りをする	58	8.5
その他	7	1.0
特にない	134	19.6
無回答	68	10.0

市と協力（協働）しながらしてみたいことは、「交流や仲間づくりのための場をもつ」（45.0%）が最も高い割合を示しており、その他の回答も含めて問16「市民どうしが協力（協働）して、してみたいこと」と全体的に同じような傾向にあることがうかがえる。

そのうち、「一緒にイベントの企画・準備をする」（15.7%）は、問16の市民どうしの協力（協働）の集計値（15.4%）とほぼ同じであり、イベントについては、「市民どうしが協力（協働）」、「市と協力（協働）」のいずれも一定の関心があることがみてとれる。

4 子どもにとっての生涯学習

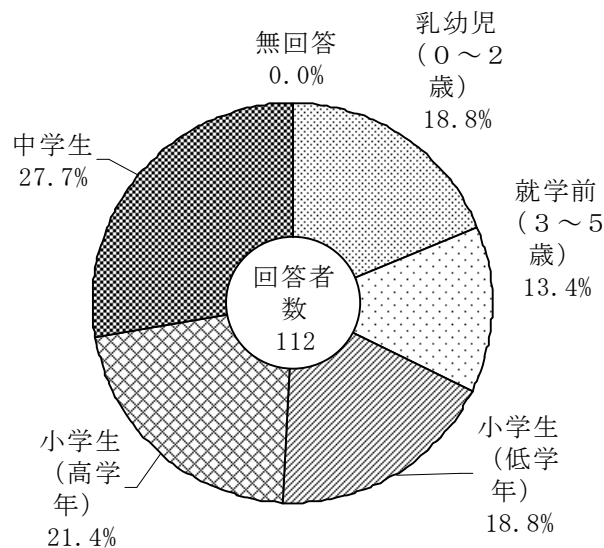
(1) 年齢と性別

中学生以下のお子さんがいる方が対象。

お子さんが複数いる方は、該当する一番年長のお子さんについて回答。

問19 お子さんの年齢と性別について、それぞれお答えください。 (〇は1つずつ)

■問19 子どもの年齢

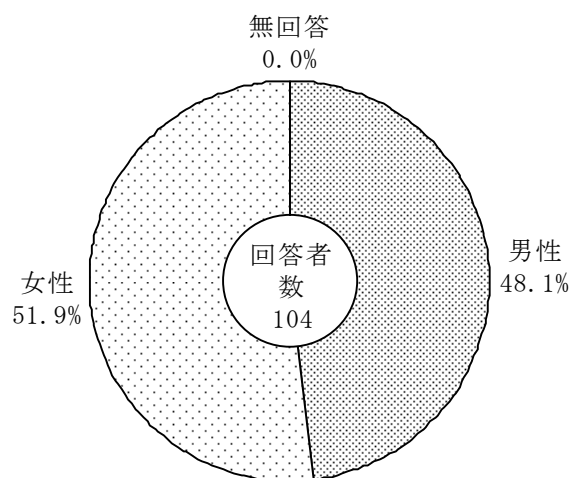


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	112	100.0
乳幼児 (0~2歳)	21	18.8
就学前 (3~5歳)	15	13.4
小学生 (低学年)	21	18.8
小学生 (高学年)	24	21.4
中学生	31	27.7
無回答	570	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (570)]

中学生以下の子どもがいる回答者に聞いた結果、子どもの年齢については、「乳幼児 (0~2歳)」(18.8%)、「就学前 (3~5歳)」(13.4%)、「小学生 (低学年)」(18.8%)、「小学生 (高学年)」(21.4%)、「中学生」(27.7%)となっている。

■問19 子どもの性別



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	104	100.0
男性	50	48.1
女性	54	51.9
無回答	578	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (578)]

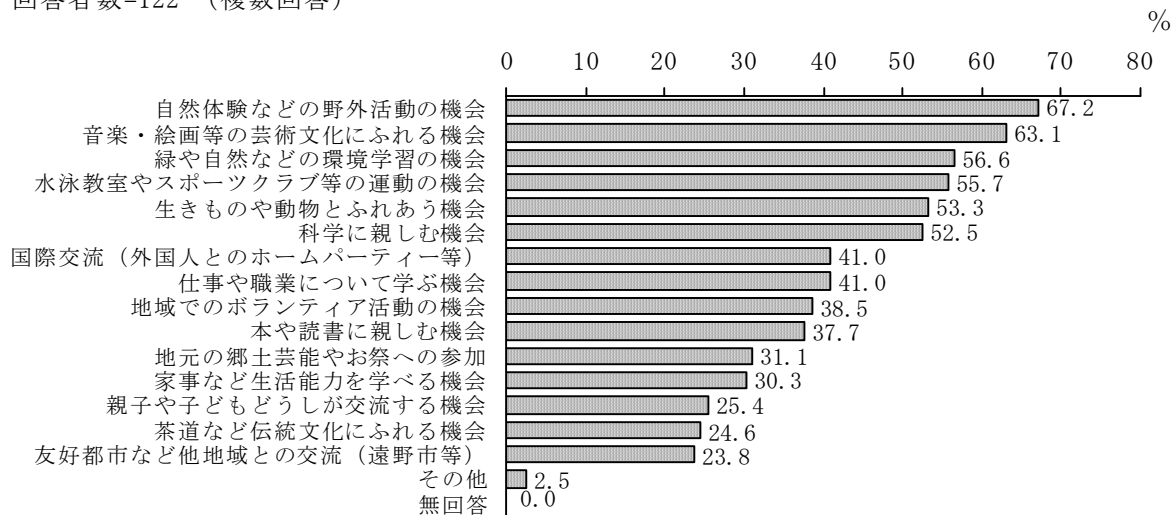
中学生以下の子どもがいる回答者に聞いた結果、子どもの性別については、「女性」(51.9%)、「男性」(48.1%)となっている。

(2) 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会

問20 お子さんにとってあると良いと思う生涯学習の機会についてうかがいます。
(あてはまるものすべてに○)

■問20 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会

回答者数=122 (複数回答)



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	122	100.0
自然体験などの野外活動の機会	82	67.2
音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会	77	63.1
緑や自然などの環境学習の機会	69	56.6
水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会	68	55.7
生きものや動物とふれあう機会	65	53.3
科学に親しむ機会	64	52.5
国際交流 (外国人とのホームパーティー等)	50	41.0
仕事や職業について学ぶ機会	50	41.0
地域でのボランティア活動の機会	47	38.5
本や読書に親しむ機会	46	37.7
地元の郷土芸能やお祭への参加	38	31.1
家事など生活能力を学べる機会	37	30.3
親子や子どもどうしが交流する機会	31	25.4
茶道など伝統文化にふれる機会	30	24.6
友好都市など他地域との交流 (遠野市等)	29	23.8
その他	3	2.5
無回答	560	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (560)]

子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会については、6割台から2割台で幅広いニーズがあることがうかがえる。

6割を超えるものは、「自然体験などの野外活動の機会」(67.2%)と「音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会」(63.1%)である。5割を超えるものは、「緑や自然などの環境学習の機会」(56.6%)や「水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会」(55.7%)、「生きものや動物とふれあう機会」(53.3%)、「科学に親しむ機会」(52.5%)があげられる。4割を超えるものは、「国際交流」(41.0%)や「仕事や職業について学ぶ機会」(41.0%)である。

■問20 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会×問19 子どもの年齢

問20. 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会 【複数回答】 上段：集計値 下段：構成比(%)

		音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会	茶道など伝統文化にふれる機会	緑や自然などの環境学習の機会	科学に親しむ機会	自然体験などの野外活動の機会	生きものや動物とふれあう機会	本や読書に親しむ機会	水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会	地元の郷土芸能やお祭への参加	地域でのボランティア活動の機会	国際交流(外国人とのホームパーティー等)	友好都市など他地域との交流(遠野市等)	仕事や職業について学ぶ機会	親子や子どもどうしが交流する機会	家事など生活能力を学べる機会
全体		77 63.1%	30 24.6%	69 56.6%	64 52.5%	82 67.2%	65 53.3%	46 37.7%	68 55.7%	38 31.1%	47 38.5%	50 41.0%	29 23.8%	50 41.0%	31 25.4%	37 30.3%
子どもの年齢	乳幼児(0~2歳)	15 71.4%	4 19.0%	15 71.4%	6 28.6%	17 81.0%	15 71.4%	11 52.4%	16 76.2%	8 38.1%	6 28.6%	10 47.6%	5 23.8%	5 23.8%	15 71.4%	4 19.0%
	就学前(3~5歳)	9 60.0%	6 40.0%	9 60.0%	10 66.7%	12 80.0%	9 60.0%	5 33.3%	10 66.7%	10 66.7%	9 60.0%	9 60.0%	5 33.3%	5 40.0%	6 13.3%	3 20.0%
	小学生(低学年)	13 61.9%	5 23.8%	13 61.9%	13 61.9%	18 85.7%	13 61.9%	3 14.3%	12 57.1%	7 33.3%	7 33.3%	9 42.9%	4 19.0%	9 42.9%	5 23.8%	8 38.1%
	小学生(高学年)	14 58.3%	9 37.5%	15 62.5%	13 54.2%	18 75.0%	13 54.2%	13 54.2%	13 54.2%	6 25.0%	8 33.3%	7 29.2%	7 29.2%	12 50.0%	4 16.7%	11 45.8%
	中学生	21 70.0%	5 16.7%	12 40.0%	18 60.0%	15 50.0%	12 40.0%	10 33.3%	16 53.3%	6 20.0%	14 46.7%	11 36.7%	6 20.0%	17 56.7%	5 16.7%	9 30.0%
	無回答	5 45.5%	1 9.1%	5 45.5%	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	4 36.4%	2 18.2%	1 9.1%	-	2 18.2%

		その他	無回答	全体
全体		3 2.5%	-	122 100.0%
子どもの年齢	乳幼児(0~2歳)	-	-	21 100.0%
	就学前(3~5歳)	-	-	15 100.0%
	小学生(低学年)	1 4.8%	-	21 100.0%
	小学生(高学年)	1 4.2%	-	24 100.0%
	中学生	1 3.3%	-	30 100.0%
	無回答	-	-	11 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

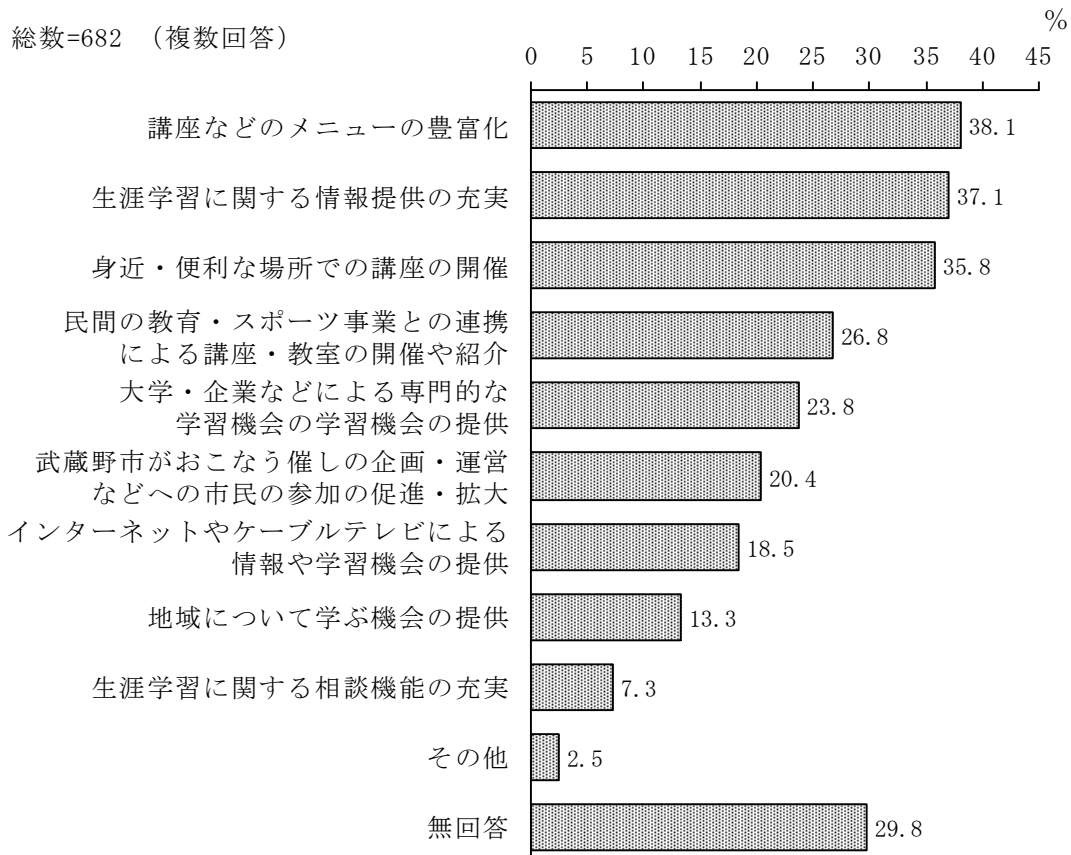
子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会を子どもの年齢別でみると、就学前までと小学生では、「自然体験などの野外活動の機会」の割合が最も高く、中学生になると「音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会」の割合が高いことがみてとれる。

5 市に望む取組

(1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組

問21 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取組を望みますか。
 (あてはまるものすべてに○)

■問21 生涯学習を活発にするために市に望む取組



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
講座などのメニューの豊富化	260	38.1
生涯学習に関する情報提供の充実	253	37.1
身近・便利な場所での講座の開催	244	35.8
民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	183	26.8
大学・企業などによる専門的な学習機会の学習機会の提供	162	23.8
武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大	139	20.4
インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供	126	18.5
地域について学ぶ機会の提供	91	13.3
生涯学習に関する相談機能の充実	50	7.3
その他	17	2.5
無回答	203	29.8

生涯学習を活発にするために市が取り組むべきことについては、3割台から1割台で幅広いニーズがあることがうかがえる。

3割台のものは、「講座などのメニューの豊富化」(38.1%)と「生涯学習に関する情報提供の充実」(37.1%)、「身近・便利な場所での講座の開催」(35.8%)があげられる。

2割台のものは、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.8%)、「大学・企業などによる専門的な学習機会の提供」(23.8%)、「武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大」(20.4%)で、1割台のものは、「インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供」(18.5%)である。

また、選択肢の項目を【講座の内容】【情報】【民間や大学等の学習の機会】【場所】【地域】の視点から分類整理してみると、【講座の内容】に関することは、「講座などのメニューの豊富化」(38.1%)と「武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大」(20.4%)があげられる。

【情報】に関しては、「生涯学習に関する情報提供の充実」(37.1%)と「インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供」(18.5%)である。

【民間や大学等の学習機会】に関することでは、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.8%)と「大学・企業などによる専門的な学習機会の学習機会の提供」(23.8%)があげられる。

【場所】に関することでは、「身近・便利な場所での講座の開催」(35.8%)、【地域】に関することは、「地域について学ぶ機会」(13.3%)である。

■問21 生涯学習を活発にするために市に望む取組×F1 年齢

上段：集計値
下段：構成比（％）

問21. 生涯学習を活発にするために市に望む取組 【複数回答】

		講座などのメニューの豊富化	地域について学ぶ機会の提供	身近・便利な場所での講座の開催	大学・企業などによる専門的な学習機会の提供	民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大	インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供	生涯学習に関する情報提供の充実	生涯学習に関する相談機能の充実	その他	無回答	全体
全体		260 38.1%	91 13.3%	244 35.8%	162 23.8%	183 26.8%	139 20.4%	126 18.5%	253 37.1%	50 7.3%	17 2.5%	203 29.8%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	13 26.5%	1 2.0%	16 32.7%	12 24.5%	10 20.4%	10 20.4%	9 18.4%	14 28.6%	4 8.2%	1 2.0%	18 36.7%	49 100.0%
	20歳～29歳	22 37.9%	8 13.8%	19 32.8%	10 17.2%	13 22.4%	12 20.7%	18 31.0%	21 36.2%	2 3.4%	-	13 22.4%	58 100.0%
	30歳～39歳	36 39.6%	11 12.1%	33 36.3%	29 31.9%	29 31.9%	14 15.4%	30 33.0%	48 52.7%	6 6.6%	5 5.5%	17 18.7%	91 100.0%
	40歳～49歳	50 46.7%	4 3.7%	45 42.1%	35 32.7%	43 40.2%	25 23.4%	23 21.5%	43 40.2%	5 4.7%	1 0.9%	17 15.9%	107 100.0%
	50歳～59歳	53 46.1%	26 22.6%	44 38.3%	34 29.6%	34 29.6%	24 20.9%	21 18.3%	45 39.1%	10 8.7%	5 4.3%	29 25.2%	115 100.0%
	60歳～69歳	38 32.8%	20 17.2%	39 33.6%	22 19.0%	29 25.0%	27 23.3%	14 12.1%	41 35.3%	9 7.8%	-	48 41.4%	116 100.0%
	70歳～79歳	35 37.6%	15 16.1%	38 40.9%	13 14.0%	19 20.4%	20 21.5%	9 9.7%	29 31.2%	11 11.8%	1 1.1%	37 39.8%	93 100.0%
	80歳以上	12 23.1%	6 11.5%	9 17.3%	6 11.5%	6 11.5%	6 11.5%	2 3.8%	11 21.2%	3 5.8%	4 7.7%	24 46.2%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	1 100.0%	1 100.0%	-	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習を活発にするために市が取り組むべきことを年齢別でみると、「講座などのメニューの豊富化」や「生涯学習に関する情報提供の充実」、「身近・便利な場所での講座の開催」がどの年代でも割合が高い。

「30歳～39歳」では、「生涯学習に関する情報提供の充実」が5割を超えており、全体の各年代と比較しても一番高い割合を占めている。

40歳代から50歳代では、「講座などのメニューの豊富化」の割合が高くなっている。

Ⅲ 団体の調査結果

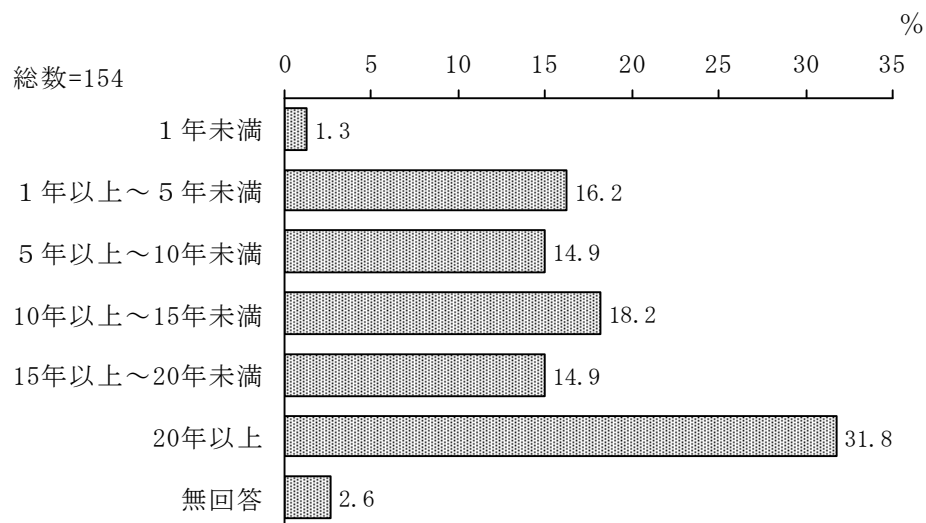
Ⅲ 団体の調査結果

1 団体の属性

(1) 活動年数

F 1 あなたが所属している団体の活動年数をお答えください。 (〇は1つだけ)
[平成21年1月1日現在]

■ F 1 活動年数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
1年未満	2	1.3
1年以上～5年未満	25	16.2
5年以上～10年未満	23	14.9
10年以上～15年未満	28	18.2
15年以上～20年未満	23	14.9
20年以上	49	31.8
無回答	4	2.6

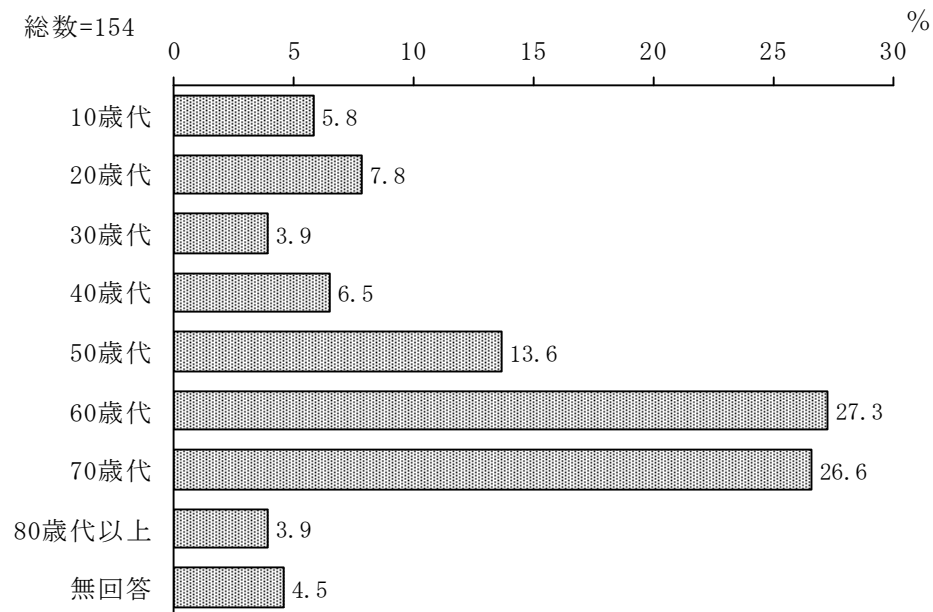
回答した団体の活動年数については、「20年以上」(31.8%)が最も割合が高く、「1年未満」(1.3%)の団体は、1割台で最も低い割合である。

これら以外の1年以上から20年未満の団体は、1割以上から2割未満の割合でほぼ同じような傾向であり、幅広い活動年数の団体が存在していることがうかがえる。

(2) 会員の多い年代

F2 あなたが所属している団体の会員には、おおよそどの年代の方が多いですか。 (〇は1つだけ)

■ F2 会員の多い年代



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
10歳代	9	5.8
20歳代	12	7.8
30歳代	6	3.9
40歳代	10	6.5
50歳代	21	13.6
60歳代	42	27.3
70歳代	41	26.6
80歳代以上	6	3.9
無回答	7	4.5

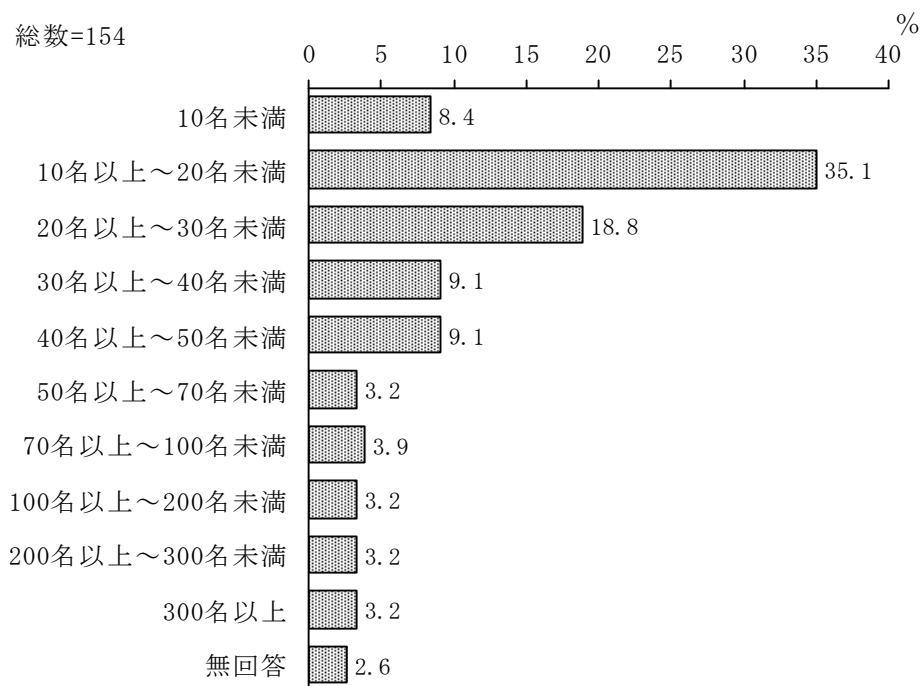
団体の会員の年代は、「60歳代」(27.3%)が最も割合が高く、「70歳代」(26.6%)を合すると53.9%と5割以上を占めており、年代が高い傾向がみてとれる。

また、「10歳代」から「40歳代」は、いずれも1割未満であり、「50歳代」(13.6%)では約2倍になっている。さらに、「60歳代」(27.3%)や「70歳代」(26.6%)は、「50歳代」(13.6%)の約2倍の割合となっていることが分かる。

(3) 会員数

F3 あなたが所属している団体の会員数は、現在、次のうちどのくらいですか。 (○は1つだけ)

■ F3 会員数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
10名未満	13	8.4
10名以上～20名未満	54	35.1
20名以上～30名未満	29	18.8
30名以上～40名未満	14	9.1
40名以上～50名未満	14	9.1
50名以上～70名未満	5	3.2
70名以上～100名未満	6	3.9
100名以上～200名未満	5	3.2
200名以上～300名未満	5	3.2
300名以上	5	3.2
無回答	4	2.6

団体の会員数は、「10名以上～20名未満」(35.1%)が最も高い割合となっている。次に高い「20名以上～30名未満」(18.8%)は、一番高い「10名以上～20名未満」のほぼ1/2の割合となっている。さらに、「10名未満」(8.4%)や「30名以上～40名未満」(9.1%)、「40名以上～50名未満」(9.1%)の割合は、「20名以上～30名未満」のほぼ1/2の割合となっている。

また、10名未満から30名未満の割合を合すると6割以上あることがみてとれる。一方で、100名以上の大規模な会員数は、100名以上から300名以上を合しても1割未満であることが分かる。